

第20回
オリエンテーリング世界選手権大会
報告書

2003年8月3日~8月9日
Rapperswil/Jona, Switzerland

WOC SQUAD JAPAN

本報告書は、2003年8月3日～9日スイス・Rapperswil/Jona市を中心に開催されたオリエンテーリング世界選手権大会の報告書であり、選手のコメントと世界選手権大会の成績を中心に構成したものである。なお、各選手が世界選手権大会に向けて行った準備・トレーニング状況、成績の分析などは、別途発行予定の技術報告書をご覧頂きたい。

第20回世界選手権大会日本代表チーム
藤井 範久

日本代表チームメンバー

男子：鹿島田浩二、紺野俊介、高橋善徳、円井基史、村越 真（男子チームコーチ兼任）、山口大助

女子：落合志保子、齋藤早生、塩田美佐、田島利佳、宮内佐季子、渡辺円香

役員：藤井範久（ゼネラルマネージャー）、山岸倫也（女子チームコーチ）、尾上秀雄（アシスタントコーチ）、宮本知江子（トレーナー）

日本代表選手選考過程について

(1) 予備選考基準：2002年10月から2003年3月までの予備選考レース上位3位（全日本選手権大会は6位）までの選手、全日本選手権大会終了時点での日本ランキング男子15位、女子10位までの選手、さらにスコード強化部が上記選手と同等の実力があると認めた選手に対して代表選手選考会の出場資格を与えた。

(2) 代表選手選考基準：以下の選手を日本代表選手とする。

a. 2003年3月23日開催の全日本選手権大会 M21E/W21E 優勝者（村越 真、塩田美佐）

b. 代表選手選考会第1戦（ミドルディスタンス、予選決勝方式）決勝レーストップタイムの103%以内の選手

c. 代表選手選考会第2戦トップタイムの103%以内の選手

d. その他日本代表チームを構成する上で必要であるとスコード強化部が認めた選手

(3) 2003年4月6日 代表選手選考会第1戦 愛知県「水別」

男子予選A組（5位までが決勝進出） 男子予選B組（5位までが決勝進出）

1	高橋善徳	31:29	1	村越 真	32:53
2	鹿島田浩二	31:32	2	松澤俊行	33:16
3	山口大助	31:40	3	篠原岳夫	33:43
4	菅原 琢	33:25	4	紺野俊介	33:51
5	柳下 大	34:49	5	山本英勝	36:02
6	許田重治	34:54	6	新 隆徳	36:12
7	小泉成行	34:59	7	円井基史	38:10

女子予選A組（5位までが決勝進出） 女子予選B組（5位までが決勝進出）

1	塩田美佐	33:02	1	落合志保子	37:28
2	加納尚子	37:59	2	岩谷ひろみ	37:50
3	宮内佐季子	39:40	3	高野由紀	39:37
4	渡辺円香	41:49	4	志村直子	47:04
5	齋藤早生	42:49	5	元木友子	49:08
6	三好暢子	52:12	6	田島利佳	53:01

男子決勝（103%=37:44 以内）

1	高橋善徳	36:39
2	村越 真	38:21
3	鹿島田浩二	38:40

女子決勝（103%=40:29 以内）

1	塩田美佐	39:19
2	齋藤早生	40:12
3	宮内佐季子	43:23

4	山口大助	39:46	4	落合志保子	45:47
5	柳下 大	40:54	5	加納尚子	45:51
6	篠原岳夫	41:14	6	志村直子	46:48
7	松澤俊行	41:29	7	渡辺円香	46:51
8	紺野俊介	42:58	8	高野由紀	47:18
9	山本英勝	49:08	9	元木友子	52:36
10	菅原 琢	55:55	10	岩谷ひろみ	55:06
参考	許田重治	42:52	参考	田島利佳	46:34
参考	新 隆徳	43:34	参考	三好暢子	52:34
参考	小泉成行	43:35			
参考	円井基史	46:19			

(4) 2003年4月20日 代表選手選考会第2戦 神奈川県「菜の花台Ⅱ」

男子 (103%=85:42 以内)	女子 (103%=84:11 以内)
1 鹿島田浩二 83:13	1 塩田美佐 81:44
2 村越 真 84:26	2 田島利佳 81:49
3 山口大助 87:14	3 落合志保子 83:36
4 円井基史 89:02	4 斎藤早生 88:00
5 高橋善徳 89:42	5 三好暢子 90:23
6 紺野俊介 92:28	6 宮内佐季子 95:33
7 柳下 大 94:50	7 渡辺円香 96:44
8 篠原岳夫 96:35	8 伊藤恭子 99:53
9 菅原 琢 96:38	9 加納尚子 103:14
10 許田重治 98:01	10 志村聡子 104:09
11 小泉成行 100:16	11 志村直子 107:31
12 山本英勝 104:07	12 元木友子 111:10
松澤俊行 DNF	岩谷ひろみ DNS
	高野由紀 DNS

以上の結果をもとにして、1。で示した代表選手を決定し、日本オリエンテーリング協会の承認を得た。

国内強化合宿

4月 26~27日	第1回強化合宿	神奈川県秦野市、静岡県富士周辺
5月 24~25日	第2回強化合宿	山梨県八ヶ岳周辺
6月 14~15日	第3回強化合宿	群馬県赤城山、榛名山周辺
6月 28~29日	第4回強化合宿	愛知県三河高原周辺
7月 12~13日	第5回強化合宿	静岡県富士周辺

世界選手権大会

7月 26日～	現地スイスでの最終合宿開始
8月 3日	モデルレース
8月 4日	ロングディスタンス予選 (Zugerberg)
8月 5日	スプリント決勝 (Rapperswil) 、開会式 (Rapperswil)
8月 6日	ロングディスタンス決勝 (Eschenberg/Rossberg) 、バンケット (Rapperswil)
8月 7日	休養日
8月 8日	ミドルディスタンス予選、決勝 (Trin/Digg)
8月 9日	リレー (Pfannenstiel) 、閉会式 (Rapperswil)

会計報告

収入

賛助会員、強化合宿残金等	¥718,828		
選手負担金	¥1,762,993	収入合計	¥2,481,821

支出

国内雑費/送金手数料	¥46,400		
現地食費	¥75,880		
現地雑費	¥64,565		
トレーニング用地図	¥117,920		
レンタカー関連	¥560,299		
参加費	¥466,400		
宿泊費	¥1,146,200	支出合計	¥2,477,664
合計			¥4,157 残

上位以外に航空券代は自己負担となっている (18万円程度) 。なお現地での支払いは、大会当時の為替レートである 1フラン=91円で計算している。

賛助会員名簿 (順不同)

茅野耕治様、棚橋是之様、匿名様、武藤拓王様、松澤俊行様、石井龍男様、金井一様、松澤俊行様、清水潔様、樋口一志様、千葉オリエンテーリングクラブ様、酒井克明様、匿名様、広江淳良様、小林岳人・正子・溜衣紗様、匿名様、磯谷忠彦様、高橋明美様、匿名様、大里真理子様、日向宏之様、山下実様、千葉オリエンテーリングクラブ様、武田徳幸様、佐藤政明様、加賀屋博文・寿理様、松尾繁樹様、元木友子・悟様、小山太郎様、高橋正樹・淑子様、高橋厚様、奥田健史様、匿名様、高野由紀様、安斎秀樹様、酒井か代子様、コントララユニオン様、匿名様、藤城公久様、船橋昭一様、齋藤宏頭様、齋藤積子様、久保欽司様、上野山禎造様、三好暢子様、山岸悦二様、多田正純様

ありがとうございました。

選手、チームオフィシャルからのコメント

スプリントレースに出場して

山口 大助

スタートに立った時には正直かなり緊張した。テレビカメラはあるし、観客もスタートの周りを固めている。これからどんなレースが始まるのか自分自身、楽しみであるとともに、大きな不安も感じた。

トップスタートだと聞かされたときにはあまり驚くこともなかった。なんとなく「トップスタートになったりして」と思っていたこともあるし、「トップスタートなら間違いなくテレビに映るな」なんて事も考えていた。

いよいよスタートだ。とにかくこの状況下で自分を見失わないようにすることを一番に心がけた。人が見えても地図をきちんと読む。あとはとにかく追い込んで走る。

観客は僕が通るのみで、「ここ通るの？」なんて動きをしていた。レース中はルートで悩むことや、コントロールからの脱出で違う方向に走りだしそうになることもあった。8番では崖から飛び降りた際に、膝をひねる。その後、1分後スタートのロシアの選手に追いつかれ少しびっくり。さらに城からの階段を4~5段ずつ降りていくのを見て、もっと驚かされる。正直、着いていけなかった。結果はトップと約2分30秒差の36位。もう少しタイム短縮の余地はあったが、それでも30位は厳しいものであった。しかし、現時点では、まあまあかと言える出来ではあったと思う。

最後、スタジアムに入っていった時は気持ちが良かった。これから先もこのようなスプリントの競技形式になるかは分からないが観客の声援を間近で受けて走れるというのは幸せなことだった。次は予選を通過して観客の声援を受けたいと強く思う。

WOC2003 を終えて

塩田 美佐

今回のWOCでは三種目（ロング、スプリント、リレー）に出場しました。

目標は、①ロングの予選を通過し、決勝という舞台で世界と闘うこと。②スプリントは未知領域のため、現段階での実力をきちんと発揮して自分の位置を把握すること、でした。そして、これからへむけて多くの人に希望を与えたいと強く思って望みました。

ロングのトレインは、一年前に一度入り経験済みで、特殊な山でないということ、そして明らかにタフさが必要であるということを感じていました。そこで、日本では、体力面の準備として、長い距離を中心に、アップのある所をできる限り走るように心がけました。技術面では、国内合宿において常に世界とのタイムを気にしつつ男子と比較しながら思考錯誤しました。地図読みでは「スイスの山だから…」とスイステレインをイメージして練習しました。一度スイスの山に入っていた事は、日本でトレーニングをする上で非常に効率がよく実感もてかなりプラスであったと感じています。

そして、WOC直前のトレキャンで、「日本と同じ」という感触を得、安心感が生まれ、

あせらず精神的におちついた状態で日々のメニューを行えました。適度に休みをとりつつメリハリをつけて調整し、レースには万全の体調で望みました。

ロング予選は、「上を見ずにできることで」と言い聞かせスタートしましたが、一箇所現在地ロストをし右往左往。しまった！と冷静さを失ったものの、最後まであきらめずOLしました。しかし、レース終了後はとにかく悔しくてたまりませんでした。今は、ミスも自分の実力と素直に感じています。冷静さを失ったのは、通りたい！という気持ちと、これ以上ミスったら厳しいという切迫感が1つあったと思います。「少しミスしても大丈夫」という余裕さを持てる力をつけないといけないと感じました。

スプリントは、パークOで「とにかく迷っている暇があったら走り出せ！走れ！」と決めていました。日本では、広場でポストへのアタックと脱出の一連の流れを重点的に練習しました。スピードについていけるように、“イメージしてから走る”を体に覚えこませ、目的地を決めずに走ってしまわないようにつとめました。レースでは、そのかいあって、スピードとイメージがうまく連動していました。スプリントを経験し、もう少し、一秒という時間をシビアに、考えていかななくてはいけないと感じました。一步でも最短距離を通る、パンチの時間、ミスの修復時間、階段・柵等の走り方など、時間に対する意識がもっとも必要です。

リレーはテレインもコースも難しくはなかったのですが、スピードが遅いと感じました。

今回のWOCをとおして、壁を1つ超える必要があると感じました。その壁を超える大きな1つのキーワードは、「スピード」（走るスピード、地図読みのスピード、情報処理・判断力のスピード、手続きのスピード等）ではないかと感じています。

これからも、さらにさらに上を目指して突き進んでいきます！

応援、御支援、まことにありがとうございました。



世界選手権を終えて

高橋 善徳

今回私は4月の末の北欧選手権から8月の世界選手権までという長期海外遠征を行って準備をしてきました。とくに5、6月のフィンランドでのトレーニングは北欧のオリエンテーリングを体験し、トレーニングの方法を学ぶという上で大変意義深く充実したものでした。毎日毎日、オリエンテーリングに直結するトレーニングが出来、世界選手権に対してしっかりとした準備が出来たと思います。

そして迎えた世界選手権は、今までの世界大会の経験を生かし2週間前にトレーニングキャンプを終え最後の1週間は体力的な調整のみと十分な準備をして臨めた大会になりました。フィンランドでの充実したトレーニングに裏付けられた自信が自分にはありました。「あれだけやったんだ。俺が通過できないはずは無い。俺なら出来る！」そういう気持ちを常に持ち続けることが出来ました。

ロング予選では体力的には十分であったものの気持ちが先走ってしまい、小さなミスをするというレースになってしまいました。全体的には良くまとめられたレースであったのかもしれませんが。レース直後は「ミスの多いレースであった。」という感覚でしたが、予想に反して予選通過まであと7秒というレースでした。急峻なテラインならば日本人も世界で戦える。そう印象付けたレースでありミドル、リレーへの希望も見えていました。

しかし、ミドルでは自分の中でベストに近いパフォーマンスをしたにもかかわらず予選通過に1分及ばずという結果で、難しく急峻でないテラインでのパフォーマンスではまだまだ差があるなと感じました。

リレーでは日本チームの当初の目標は15位でした。全員のパフォーマンスは予定通りだったといって良いでしょう。しかし結果は25位。もっともっとスピードをつけなければならぬ。と再確認させられるレースとなってしまいました。

オリエンテーリングは持久系スポーツですが、世界では瞬発系スポーツに変わりつつあります。スプリントの存在もさることながらミドル、ロングでも世界のトップは5分半/Kmで走ってしまうのです(急峻なテラインを除く)。

今回の世界選手権でオリエンテーリングの楽しさ、魅力を再発見できました。それに伴ってオリエンテーリングに対する認識が変わりました。もっともっとオリエンテーリングの虜になりました。これからも頑張り続けます。

最後になりましたが、今回の遠征に対して多大なご援助・ご声援をいただき有難う御座いました。これからもどうぞ宜しくお願いします。

世界選手権を終えて

紺野 俊介

初めての世界選手権、始まるまでは待ち遠しく、終わってしまえばあっという間の出来事でありました。楽しい宴は待ち遠しいですが、終わればあっという間で寂しいものです。人生はこの繰り返しですね～。

世界選手権に出場が決まったのは、4月の選考会でしたがはっきり言って結果を出さな

くて通過はありえないと思っていました。2本あった選考会いずれも、大した成績でもなく、特に2本目のセレクションを走り終えた時点で、スイスの世界選手権への出場は諦めていました。ところが諦めていた世界選手権への出場を（村越さんからの一声で）推薦という形で手に入れ、正直初めはセレクションで通過していない自分はふさわしくないと思って断ろうかと思っていましたが、次の機会があるわけではなく、今回のチャンスを生かしたいと思い参加を決意したのです。

そもそも自分が世界選手権への挑戦を始めたのは大学3年の時でした。確か当時の実力では、代表になることが難しいとわかってはいたましたが、僅かなチャンスを期待して選考会に参加し、散々な結果に終わったことを覚えています。2度目の挑戦は、社会人1年目の4月でした。大学最後のインカレ(2001年3月)に臨むにあたり、体調は万全でしたが、初日の個人戦で肋骨にヒビが入ってしまい、その後の全日本も走れず、4月の選考会は、そこまで何も出来なかったのが当たり前のように不通過という結果に終わりました。社会人となった自分にとって目標が無くなってしまった瞬間でした。

不通過から2年の月日が経過して、再び挑戦した世界選手権への出場、推薦ではありましたが、参加を決意した自分にとって、これまで以上に頑張ろうと思ったことは間違いありませんでした。昨年のユニバーシアードの出場に踏み切った理由として、社会人として、目標がなくなってしまう、オリエンテーリングを続けていきたいと思っていた自分への動機付けとして、ユニバーシアードへの参加を決意したのです。今年も同様の理由で世界選手権を目指したのは間違いありませんでした。昨年もユニバーシアードが終わってから、頑張ろうと思っていましたが、その後なんら生活の変化が無かったのは事実でした。

今回世界選手権の代表に決まってから、何とか生活のリズムを変えようとの思いはありましたが、平日は仕事、週末はオリエンテーリングの生活相変わらず続いていました。しかしながら。平日は仕事だけで、まったくトレーニングをしない、2週間に一度ある合宿は自分にとってかなり有意義な時間でした。これ以外自分が頑張る手段が無かったのも事実でした。

選考会後の何ら変わらずの生活（仕事中心活）を送り、合宿では不本意な走りを繰り返し、自分でも結果がでなくて、焦りつつも、打開策も見出せないまま、世界選手権本番を迎えてしまいました。合宿を通して、他の選手の普段からの努力も垣間見れ、何ら努力をしていない自分のはっきり言って恥ずかしい限りでした。正直自分が走っているのだろうかという葛藤さえ芽生えました。

スイス出発まで、最後の調整どころか、仕事の引継ぎで精一杯でしたし、正直これまでの合宿で冴えない走りしかできなかった自分にとって、本番でよいレースができる巧妙が見えないまま、不安なままでの旅立ちでした。

スイス入りしてからも、なんとかしようとの気持ちとは裏腹に、冴えない走りしかできませんでした。しかしながら、何の打開策も見出せないまま本番を迎えたのです。

ロング予選、引きが強いのか分かりませんが、トップスタートでした。どうせなら、「1」のゼッケンが欲しかったのですが、「2」というゼッケンをいただき、気持ちはかなり高ぶっていました。しかしながら、結果は予選落ち、正直準備不足の自分にとって、当然な結果であった気がしますが、やっぱり悔しかったですね。

世界選手権が終わり、生活を変えようと思いましたが、なんら変わっていない自分がいま

す。はっきり言って、自分の実力が無い(結果がでない)のは仕事のせいであるとはいいたくないのです。仕事しながら、結果を出している選手もたくさんいます。自分は単に、頑張ろうと思う、意志が弱い人間に過ぎないのかもしれませんが。仕事で事務の効率化をうたっていますが、まだ実現できておりません。仕事を上手くこなし、継続的なトレーニングの時間を作ることが今の自分に必要不可欠であると思っております。

2005年、日本での世界選手権、自分が代表として出場するには、とにかく今の生活を変えなくて道は開けないと思っております。試行錯誤するかもしれませんが、周りの方々に相談させていただくかもしれませんが、お相手の程よろしくお願い致します。

最後に、今回大会参加するにあたり、快く2週間の休みを受け入れていただきました、職場の方々、たくさんのご支援をいただきました会社の方々、会社の同期の方々、早大OCのOB・OG・同期・現役の方々、その他多数の方々、本当にありがとうございました。

皆様のご期待に添えなかったのは、非常に申し訳ないのですが、不本意な結果を反省して、これからの頑張るって参りたいと思っております。

これからも宜しくお願いいたします。

結果：ロング予選敗退

宮内 佐季子

2005年、愛知のWOCではロングを走ると決めています。

私はオリエンテーリングを始める前に陸上競技(主にマラソン)、山岳競技、アドベンチャーレースなどを8年間経験してきて、自分は極端に長距離向きの体をしている、というか走るのが遅いということを感じてきたので、極力短い距離は避けたいのと、アドベンチャーレースをしていた時から気候的な悪条件に強かったのが高温多湿という悪条件で長距離を走らなければならないというのは私にとって有利だからです。白人と私の暑さに対する強さがどのくらい違うかということ、白熊と熊ぐらいかな。



ZUGGERBERG

MASSTAB 1:15'000
AEQUIDISTANZ 5M

Kartografie Urs Steiner
Druck Peter Lüscher & Co, Aarau
Kartenkonsulent Hanspeter Oswald
Kartennummer 890 Q, geprüft 2003



MEN

A	B	C
54	40	36
35	32	34

そして、2005年に走るために、今年はとりあえず決勝を走るだけ。来年は決勝で順位を意識して走って（具体的な順位は考えていない）、2005年には来年の結果を踏まえてもう少し上を目指す。というのが、最低でもやらなければならないことだと思いました。正直言ってかなり無謀な気はしていたのですが、でもそれ以下の目標は思いつかなかったのです。また、スコードが提示している目標とも違うような気がします・・・

特に準備したことは、旧マップがあったので予選のコースを組んだり組んでもらったりして地図を読んだことと、予選のイメージトレーニングぐらいです。このイメージトレーニングが曲者で、都合よく上手く回って帰ってあげればいいのに私の場合、よくつぼるんです。そして今回も・・・。現地に行ってからトレキャンで女子コーチの倫也さんに一緒に山に入ってもらってアドバイスをもらって何とかいいイメージができ、予選に臨むことができました。

そして予選のレース内容も今の私にしては上出来（多分10回走って2回できるかできないか）でした。その結果が予選18位（17位まで通過）でした。もちろん悔しいですが、実力通り（以上？）のレースをした結果なので悔しがらる筋合いでもありません。

来年は、選手になれたら、予選通過は当然のこととして決勝での目標を設定して走ります。

最後になりましたが、いろいろな形で応援してくださった方々、どうもありがとうございました。これからもよろしくお願いします。

WOC2003 を走って

鹿島田 浩二

世界選手権への出場7回目、もはや出ることには何の意味もなく、結果をどこまで残せるか、個人的には95年以来常に目指してきたロングでの予選通過が果たせるか、そして2005年のマイルストーンとしていかに結果を残せるか、それが課題であった。

ロングについては、しかし結果は最悪のものだった。6番の大ミスが響いて26位。過去に比べても最低に近い。ベテランとしてはまったく落第の結果である。

ミスをするまでの5番までは予選通過ラインをクリアしている非常によいレースだった。しかしそんなことをいっても結果が出なければ何の意味もない。悪くても1分1秒でも速く走って、次につなげなければいけなかった。残念だ。そんな中、3人の日本選手が18位という惜しい結果を残したことは（悔しくもあるが）嬉しかった。これも結果を残せなかったことは確かだが、村越以外の日本の選手が予選通過ライン付近にいるということを示した。

リレーについては4度目の1走を勤めた。タイムは33:11、全体のトップとの差は4'30だが同じパターンで見ると2:30である。史上希に見る簡単なコースであったとしても自分としては評価できる内容だ。トップ比120を越えるレッグがラスポゴールしかなかったことから自分の現在の限界だろう。しかし結果は22位である。厳しい。

世界は着実にスピードアップしていることをあらためて感じる。トップのレベル向上というよりも欧州の中堅国のレベルアップである。少し前にも負けることなかったベルギーも今では全く勝てない。そして今回ポルトガル、スペインという国々にも勝つことが出来

なかった。全体の結果で見ても日本はトップ比120%と過去最高の成績を残しているが、結果は最低の26位である。

2005年を考えると、もう数%速く走る1走がいなければ、高速化したリレーには対応できない。愛知のトレインではもう少し様相は変わるだろうがそれにしても112%では太刀打ちできない。

さて今後の自分の方向性について。結果には出てないが、今回は1999年以降下降線をたどっていたコンディションが再び上向いていることを感じた。まだ自分は日本チームに貢献できる可能性が充分ある。だから後2年は選手を続ける。

劇的に速くなることは年齢的にも正直難しいだろう。しかし1%でも速く走れるように努力したい。そして自分が2年後速ければロングでもリレー1走でもスプリントでも走りたいと思う。

今WOC2005を控えて選手を続けられることは、非常に恵まれたことである。反面、そのチャンスが与えられた者として果たすべき責任の重さに身震いすることもある。2005を考えれば残して決して順調とはいえない現状に、もう一度戦略を練り直して1日1日を大切に過ごしていきたい。

最後になりますが、日本チームを色々な意味で応援、援助して頂いた方々に本当に感謝します。今後どうぞよろしく願いいたします。

反省や課題は作ったが夢と希望も残した世界選手権

斎藤 早生

この度は多くの方々から援助を頂き本当にありがとうございました。現地からトレキャン中に書くハガキで、親しくしている人は勿論、失礼ながら面識のない人からも声援を受けているのだと思うと一層頑張ろうという気持ちになりました。残念ながら、形としては一つも決勝には進めませんでした。期待をしてくれたチームメンバーにまたのやる気を貰った感じです。

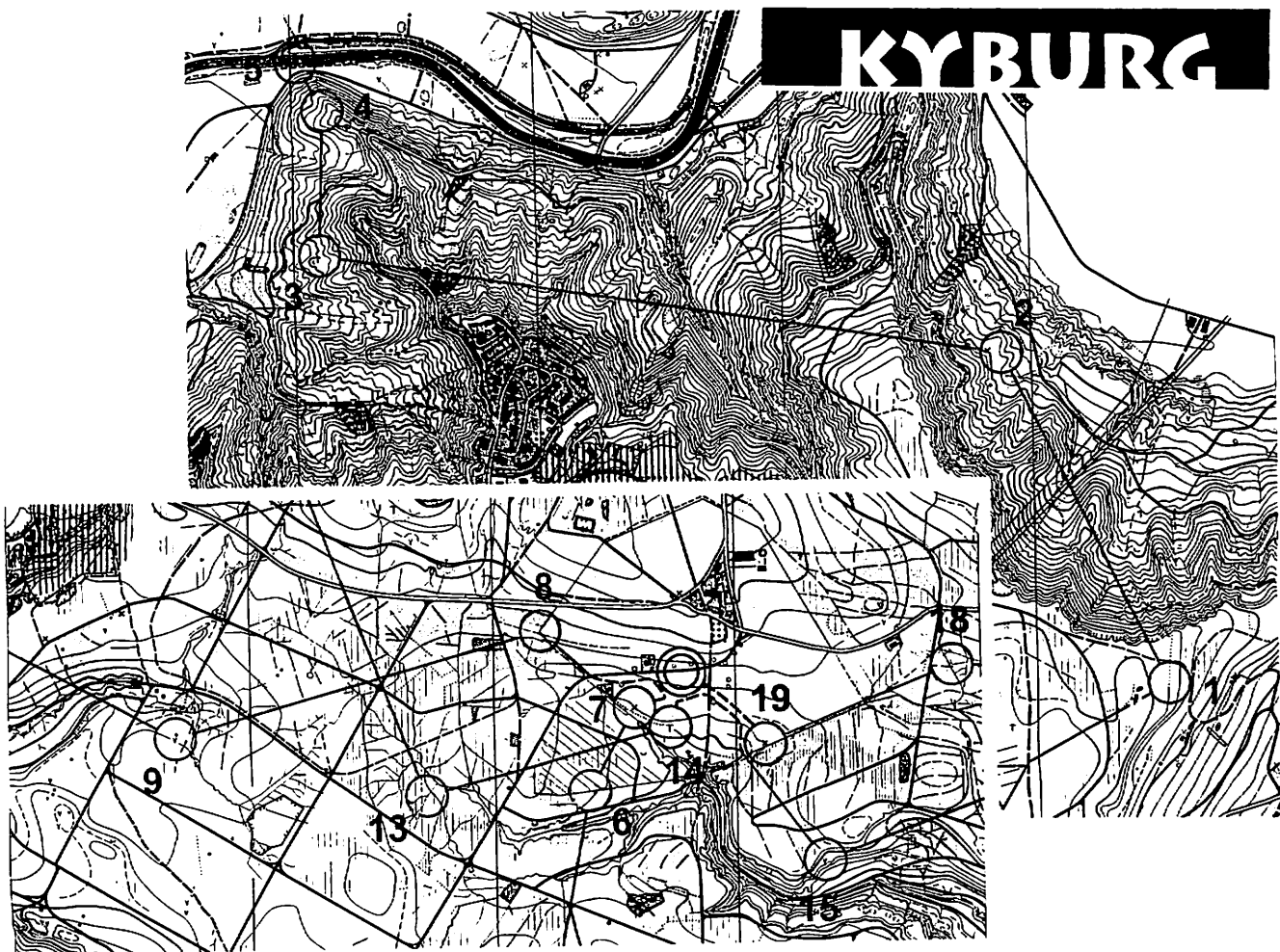
さて、レースについてですが……。

ロングは昔から魅力あるものでした。知力・体力・気力・判断力・スピード等これぞ醍醐味！今の私には決勝の距離とアップには耐えられない（行ける可能性はないに等しいけれど）、しかし予選は国内のレースと同じ位の距離とアップでは尚ボーダーも難しいのではと感じて走らせて貰っていいものやら思案しました。しかし最後の世界選！？選手にいただいた事に感謝し、コーチやメンバーからのエールを何年か振りに受け、焦らず慌てずタンタンと進もうとスタートしたんです。幾らかのタイムロスがあったものの何とかトントンと進み、このスピードじゃ良い順位にはなれそうもないけど、まとまった出来だと終われるかと大切に走りました。×××なのになのに×××空間移動、気が付いた時のショック・体力と時間は余計に使い、もうがっかりがっかり。でも気力だけは失わず、往復の道走りでそれこそひたすら考えてた事は、選ばれて走らせて貰っているのに・ああ、何て言い訳にもならない・私の方が良かったのと思われようだろうな・やっぱり早生はダメだった等、ゴールで待ってる皆の表情が浮んできて泣きたい程。でも目指しました。ラスポからの誘導での観衆と日本人の顔と声、ゴールレーンを過ぎた瞬間ザッパザッパと水

をかけられ、メンバーの出迎えに、今までにないむしようにチャレンジしたいこれで終わりたいくないと言う願望が出ました。決勝を観戦に行った時、あの大観衆や何度かのビジュアルポストを見て本当に凄い、これが正に世界選だ。ゴールまでの長い長い誘導路に一瞬立った時、私だったら真っ直ぐ前で見て走れるだろうか、へべレケになってフラフラ状態か、観衆の顔さえ見る余裕もなく必死に走るのか、周りの声援に答えて飛び込めるかなどとちょっとだけ夢を見ました。

ロングの急斜面に対しミドルは微地形。私の好きな（得意とか上手とは違う）タイプ。暫くこういう地形を走っていないのでかなりの不安はありましたが嬉しい事に出場。多少慎重でも飛んだり跳ねたり沈んだりしなければ命取りにならずワクワク展開にしたいと思いました。しかし前半と東西をつなぐ部分は一般的な山で中盤後半にしか微地形がなかったのは期待外れで、勝負所と思ったそこを大方順調いい出来でしたが力足りず。予選での私の感じではショートレグの微地形の走りや地図読みは大体出来ているので緩やかな山の速い走りがあればと思いました。ただやっぱり決勝の地図とコースを見たらそれ相当の物でした。緊張の連続、もしも予選がああだったら展開は違っていたかもなんてちょっとため息。

個人でも出たいが団体で日本をアピールしたい。もし一本しか走れず選択権が自分にあつたらどうしたものか今でも選べない。幸せな、いや重大な事にリレーの一走に。競り合うチームはあわよくば10チーム位とやる気。コーチの「このメンバーが今の日本の最強だ」と言う励ましも、人を気にしない過ぎで遠回り、暑さもこたえました。



三週間近くほぼ毎日走り、また集団生活は本当に六年ぶりで、刺激のある充実した日々でした。良くも体がついていったと思いました。ロングの大ミスに村越君が「久しぶりの海外遠征だからね」との言葉が救いかな、とちよつと甘えて。是非機会あれば海外の試合に以前の様に参加したい。今回の反省と勇気を活かして。そして私の目標、オールマイティーになれるよう様（リレーなら何走でも、ショートもミドルもロングも大丈夫な）。

波乱があっても強い国はやっぱり強い。上位で幾らか動くだけ。それらほ予選を落ちる事はない。運やツキで残っても面白くない。ギリギリなんだけど何時も決勝に進める実力が望ましい。まだ白分は下位であえいでいる感じ。上達してない。やきもき。中堅国は全体的に伸びているのに取り残されている感じ。海外の何かのいつかの大会で是非すっきりしたい。

最後に、皆さんの知らない事ですが、一歳七ヶ月の子を置いて長い事留守にするのは寂しくも気がかりも世話をかけるのも相当ありました。又、言い訳ではありますが今の力の最大の不足である走力体力については、六年近く前に交通事故による体調不良と、五年前に結婚して間もなく夫の両親が茨城に引っ越したのも東の間夫の父が重い病気で看病看護で週三日は通い（夫の帰りを待ち夜11時過ぎ自宅発2時過ぎ到清、一日用事をして又夜11時過ぎ茨城発2時過ぎ帰宅、幾らも寝ないで4時40分起きて夫5時半出勤、その夜又茨城に、の繰り返し）ですからトレーニングどころか本当に何にも出来ずここまで来ました。昨年亡くなり今度は夫の母の足が自由がきかないのでいまだその状態続きです。

賛助いただきました皆様には良いお返しが出来ませんでした。私は感動感激を受け、奮い立たせる気を作り、手応えを感じました。感謝いたします。会場でお会いいたしましたら叱咤激励！頂きたいと思います。

ミドルディスタンス、リレーに出場して

村越 真

2001年の世界選手権を終えた後、静脈瘤の手術をしたり、7針縫う怪我をしたりと、十分にトレーニングのできない時期が長く続きました。2002年にはトラブルも一段落し、昨年の秋からは、ここ数年の中では比較的順調なトレーニングができました。その結果、90分を超えるレースとなった全日本を制することができ、選考会を待たずに世界選手権代表選手となりました。これは、選考会を気にせずトレーニングできるという意味でありがたいものでしたし、正直なところ選考会でトップになることがなければ選手を辞退しようと思っていたので安堵もしました。

選考会も終わり、さらにトレーニングをレベルアップしはじめた5月、突然右ひざに耐えがたい痛みが襲いました。ひどい痛みは数日でひいたものの、その後3週間はジョグやトレーニングジムでの走らないトレーニングに終始しました。その後も、抜歯を契機に寝返りも辛いほどの腰痛が出たりと、故障が噴出しました。こんなに続く障害に耐えているのだから、きっと最後にはいいことがある、自分自身にそう言い聞かせ続けることで、やる気をなんとか維持してきました。また今年から各種目の出場選手が3人に絞られた関係で、それぞれの選手が出場種目を絞ることになり、私の出場種目がミドルになったこともあって、焦りを感じることは回避できました。

出場したミドルやリレーで、自分では大したミスもなく、実力を出し切った感触がありながらも、その感触と成績との間には大きなギャップがありました。多分、それは準備状況のせいというよりも、年齢的な限界に自分が差し掛かっていることの明確な表れなのでしょう。

22年前、初めて世界選手権に参加したのもスイスでした。競技のレベルや地図・コースの質はその時と大きな変化はありませんでしたが、自分とオリエンテーリングを取り巻く状況は大きく変わっています。

当時、私はまだ右も左も分からないオリエンテーリング発展途上国の若者でしたが、今では年に数回も遠征を続ける古参、そしてオリエンテーリングの国際舞台を支える人間の一人にさえなっています。森の中でひっそり行われていた素朴なスポーツであったオリエンテーリングは、街中や公園で大観衆の声援を受けるスペクタキュラーなスポーツに変容しようとしています。

その変化に若干の違和感を感じながら、今後のオリエンテーリングの発展に何が必要で、その中で自分ができることは何かを考えて、これからもオリエンテーリングに関わっていく所存です。22年間の声援、ご援助ありがとうございました。これからも、日本と世界のオリエンテーリングを発展させる活動にご援助をお願いします。

世界選手権大会報告

田島 利佳

世界選手権は8月にスイスで行われた。冷夏の日本と違って連日35度を超える暑さとなり、コンディションのケアにかなり気を使った。4回目の出場となれば、当然だかただ代表として走るのではなく「結果」として形に表すべきだと考えていた。だからこそその挑戦だった。毎回、「後少し、可能性がある、惜しかった」では進歩がない。2年後には地元日本で世界選手権が行われる。その足がかりにするためにもどうしても今回はなんらかの結果をだすべく準備をしたつもりだった。

今年2月に、ターゲットとする種目をミドルディスタンスにすることを決めた。2年前のフィンランド世界選手権でショート予選を走り、決勝を走ることにごたえを感じたことと、体のコンディションからロングは無理だと判断したため。今回の目標としては、

- ・予選を通過し決勝を走る。
- ・決勝ではトップの125%で走る。

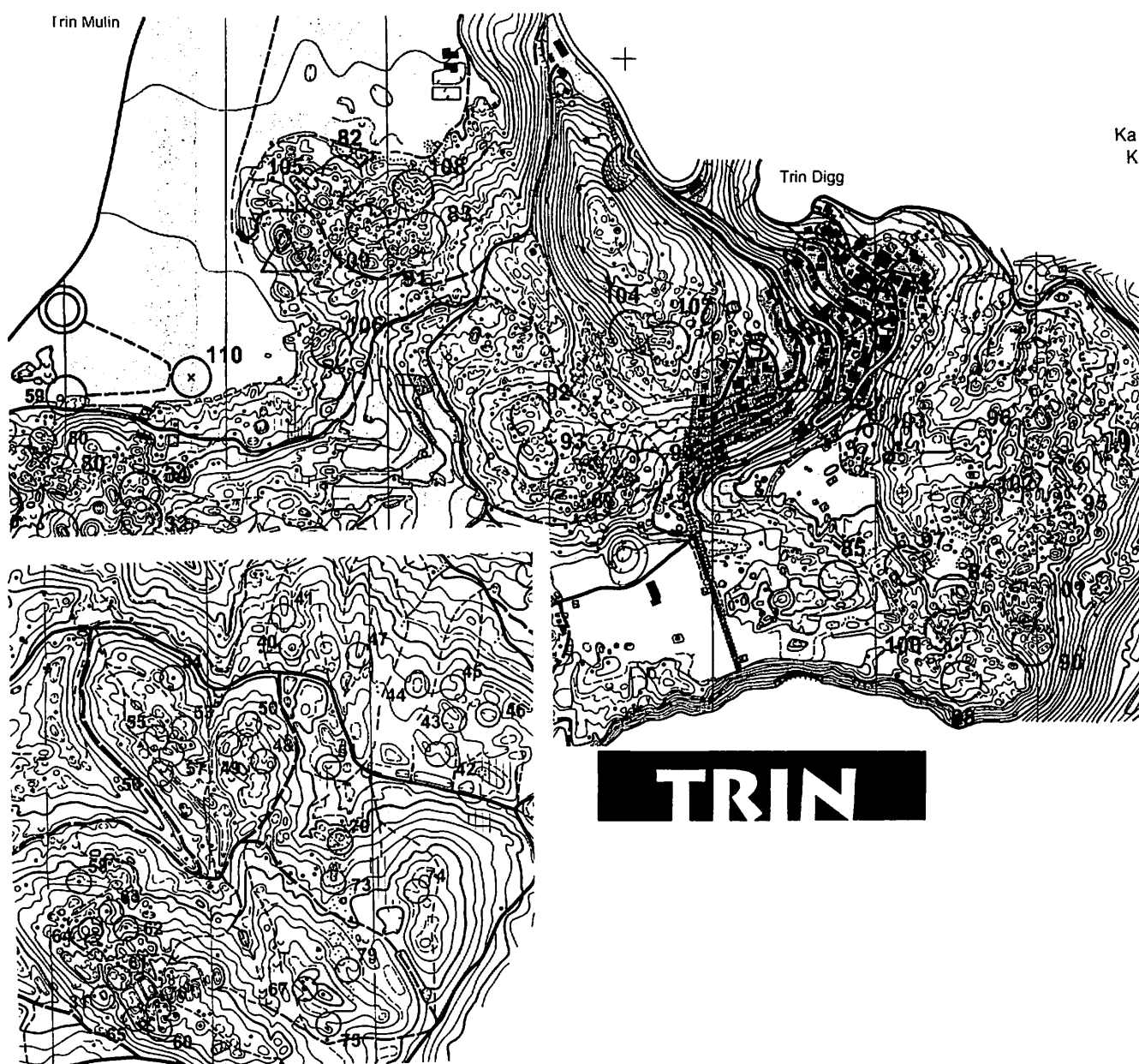
結果は予選敗退。予選トップ比135%のタイムで遅れること9分、通過ボーダータイムから3分。

当たり前だが大きいミスはせず悪いレースではなかったのだが現実には厳しい。いくつかの反省点が上げられる。技術面ではまだ情報の単純化ができていずスムーズに進めない、ルートチョイスではフィジカル面とリンクして積極的なルートを選べない。フィジカル面ではベースの基礎体力が足りていない。「走るのだけで遅そう」と思うようなレッグでは思ったとおりに差がついている。フィジカル面でベースアップした上でオリエンテーリングの技術面を練習をしていかなくはステップアップはあまり見込めない。

それからかなり後になって気づいたが、メンタル面の問題。中盤に同時スタートのロシ

アの選手を見たときに、決勝を走れるかもしれない、いいレースをしているのかもしれないと思ったのだが、その後ちょっとしたミスから冷静さを欠き、小さなミスを続発した。これは予選通過がシビアに現実的なものとしてレース中に捉えられたからこそからで今まで気づかなかったなのかもしれないが、その気持ちをコントロールする術を持ち合わせていなかった。

翌日のリレーはなんとか20以内に入れるのではないかとチームで話をしていて。今回はワクワクとして少なからず希望を持っていた。テレインから言っても今回のメンバーはかなり期待ができるはずだ。レースほとんどミスはなく、後半だいぶ疲れたがけして悪い出来ではないと思っていた。しかしタイムはトップ比150%。フィジカル面での準備不足は否めない。これだけやれば走ればミドルの競技時間と、リレーで60分走りつづけることは大丈夫だろうと思ってやってきた今までのトレーニングやその時間は、それでも世界で戦う上では不十分なのだ。トレーニング内容は工夫したものの、時間と量については少ないとは思っていたがはっきりと数字になって現れた。



それでも目標達成に向けて今まで費やした時間とおりの結果はそのまま出ているように思える。逆に言えばこれから同じようなトレーニングを続けていても今回と同じような結果しか出せないだろう。今後活躍をしようと思うのならば、絶対量は増やしもっと違ったアプローチとトレーニング内容の工夫は必要だ。

それから周囲のサポートは大いに励みになる。そのための関係作りは非常に大事だと思う。

もちろん努力しているのは選手、それぞれで走るのも選手だが、それを応援し、身近に応援できる選手がいるというのは周囲にとっての楽しみの1つになるだろう。選手は、チームは自分らのことに一生懸命かもしれないが、2年後の地元開催の世界選手権を盛り上げていくためには強くなるにはもちろん、周囲を巻き込みこむことも（例えば地域クラブに入ったり、なにかしらのイベント交流をしたり）強化への布石になるのではないだろうか。

最後に。

賛助や応援をしていただいた多くの方、サポートしてくださった関係者の方々に本当に感謝しています。ありがとうございます。経験を次の自分へ、また若い世代へつなげていくことが自分の役目だと考えています。

技術報告についてはこちらをご覧ください。

<http://www.bea.hi-ho.ne.jp/rika7/index.html>

世界選手権大会に参加して

落合 志保子

ミドルに出場しました。最初からロングを走れるだけの十分な体力を準備できないという消極的な理由でしたが、ロング・リレーとミドルはまったくトレインのタイプが違うため、最初からそう決まっていたのはとても準備がしやすかったです。

ミドルはほぼ最終日の8月8日。現地に入ってから2週間近く時間がありました。リレーを走る予定もなかったのですが、最初から最後までミドルのトレインで調整をすることになり、疲れ過ぎないように気を付けながら技術の確認をしていきました。思っていたほどトレインに対する違和感はなく、地図読みをしきちんとプランさえすれば普通に進める。出発前までは自分の準備不足から非常にネガティブな考え方しかできなかったのですが、スイスに来てからは今すべきことをするだけだと開き直り、思ったよりも楽しく山に入ることができました。滞在中、前半は少しつめてトレーニングに入ったのですが、中盤からはほぼ1日おきのペースでした。これは日本での準備でも毎日走れていなかったためです。今までの世界選手権はみんなとまったく同じようにトレーニングをしてきたのですが、今回はトレインのタイプが種目で異なることもあって、各自自分の予定に従って調整出来たのは私にとってとても楽なことでした。

さてレース本番ですが、1、2番は慎重にという倫也コーチの言葉にも関わらず、スタート直後、現地が対応できていないままふらふらと進んでしまい、大きくミスをしてしまいました。そこからはたんと自分のペースでレースを進めたのですが、とにかく巡行スピードが非常に遅く、まったく話にならない結果でした。

予想に反して予選は簡単でスピードを出して走らないと戦えない。ミドル特有の細かい

地形部分も多少あったのですが、他の選手はそこではスピードを落として慎重にミスのないように進み、走れるところはがんがん走るというスピードの切り替えがうまくできていました。しかし私は満遍なく細かい地形の部分でのオリエンテーリングのスピードで走ってしまったようです。

今回の私の結果は前と比べると何も進歩がなく、むしろ後退してしまっただけですが、私自身はスタート地点にたてただけでもよかったと思っています。産後1年での代表復帰は想像以上に大変でした。自分の体が元に戻るのですから1年はかかります。今回たくさんの人たちに支えられ、協力してもらって、とりあえず代表というところまで来ることが出来ました。今の時点で確実に2005年へ向けてのスタート地点にいられることを嬉しく思い、またさらに新たな2年を作っていきたいと思っています。

最後になりましたが、応援して下さいました皆様、国内、現地でサポートをして下さった皆様、家族のみんな、本当にありがとうございました。

賛助のお礼と参加の報告

円井 基史

この度は世界選手権へ参加する日本チームにご賛助いただき大変ありがとうございました。今回僕は補欠選手としての参加であり、大会本戦のレースを走ることはありませんでしたが、僕自身にとって日本チーム入り、また海外でのオリエンテーリングは初めての体験であり、とても良い経験を積むことができたと思っています。

今回世界選手権に参加して特に強く感じたことは、「2005年日本開催の世界選手権では地元日本チームが活躍しなければならない」ということです。今回の開催国はスイスでしたが、スイスチームは全種目、男女ともに素晴らしい成績を収め、観客やメディアを大いに魅了しました。女子は前評判の高い選手が多くある程度の活躍は予想できましたが、シモーネ選手の4冠、トーマス選手のロング優勝、男子リレー入賞などは、やはり地の利、母国開催ならではの強みを感じました。こうした地元選手の活躍は観客やメディアを大いに盛り上げ、見事成功した世界選手権という印象を受けるに十分でした。2005年日本で開催される世界選手権においても、観客やメディアを感動させる走りをするのが日本選手に求められていると強く感じました。

今回日本チームは塩田選手がスプリントで23位という日本人最高順位を記録したほかは、ロング、ミドルとも予選通過を果たせず、リレーにおいても目標であった15位には大きく届きませんでした。僕はチーム入りも国際大会への参加も今回が初めてで向こう見ずな発言となるかも知れませんが、個人的に今回の日本チームの結果を「惨敗」と受け止めています。さらに今回の結果が今までと比べ特に悪いわけではないこと、また2005年まであと2年しかないという厳しい現実も同時に受け止めています。

今回の遠征は、はっきり言って断ることも考えていました。補欠という立場と、自分の実力では世界に到底通用しないという理由で、遠征する意味を見出せずにいたからです。結局2005年そしてそれ以降のこともらんで渡欧する決断を下しましたが、結果としては遠征して良かったと思っています。それは「世界」というものをこの目で、この肌で感じることができ、月並みの表現ですが「熱い闘志」をもらうことができたからです。それ

はまるでインカレでまみえる全国の強豪大学、強豪選手を相手にこの自分を、そして自分の属する弱小大学をどう強くして行こうか画策していた数年前に戻ったかのようです。上には上がいると分かり、とても新鮮でワクワクする気分です。とにかくこれからも地道なトレーニングを続け、量を稼ぎ、その先にあるブレークスルーをつかもうと考えています。先は見えず不安な部分もありますが、とにかく一步一步進んでみようと思います。これからもどうぞよろしくお願い致します。

WOC2003 スイスを終えて

渡辺 円香

今回、私が本戦を走ることはありませんでした。しかしトレキャン中は、リザーブとしてロングにミドルにと日々調整を重ねておりました。ロングもミドルも数日前まで出走のスタンバイ状態でしたので、心身の心構えのシュミュレーションはある意味出来たかと思えます。また、異なるタイプのテレインに多く入れたこと、併設大会に4回参加し、レースの機会を得られたこと、宿舎近辺をヒマさえあればウォーキング、ジョギングしたこと、レストの日もハイキングや観光で動き回っていたこと等、積極的に行動できたと思えます。しかし、世界選手権を走れなかったわけですから、セレクションで結果を出せなかった自分の責任と分かっている、煮えきれずに悔しいです。今もこれからも。でもスイスに行って、チームの一員として行動し、観戦し、試行錯誤し、自己問答し、この経験を得ることが出来て何より素晴らしかったです。

以下が私の参加した併設大会のトップラップ比です。①サンモリッツ DA150%くらい②併設1日目 113%③併設4日目 103%④併設5日目 122%。①は今回のミドルタイプテレインで微地形地帯がありましたが、走りやすかったです。到着日翌日で心身対応ができませんでした。②と③は際立って易しいコースでした。④はミドルの併設でしたが、コースは登れ、走れで拍子抜けしました。いずれもテレインに対する不安はありませんでした。スピード(思い切り)とルートプランが課題です。

この遠征を通じ、確実にもっと強くなるヒントは獲得しました。各国選手やチームメイトから様々盗んできました。今後の躍進に繋がります。真摯に現実と向き合い、環境に負けず心強くがんばります。

最後になりましたが、皆様のご支援、ご声援大変嬉しく、本当にありがとうございました。

2003年世界選手権大会報告

藤井 範久

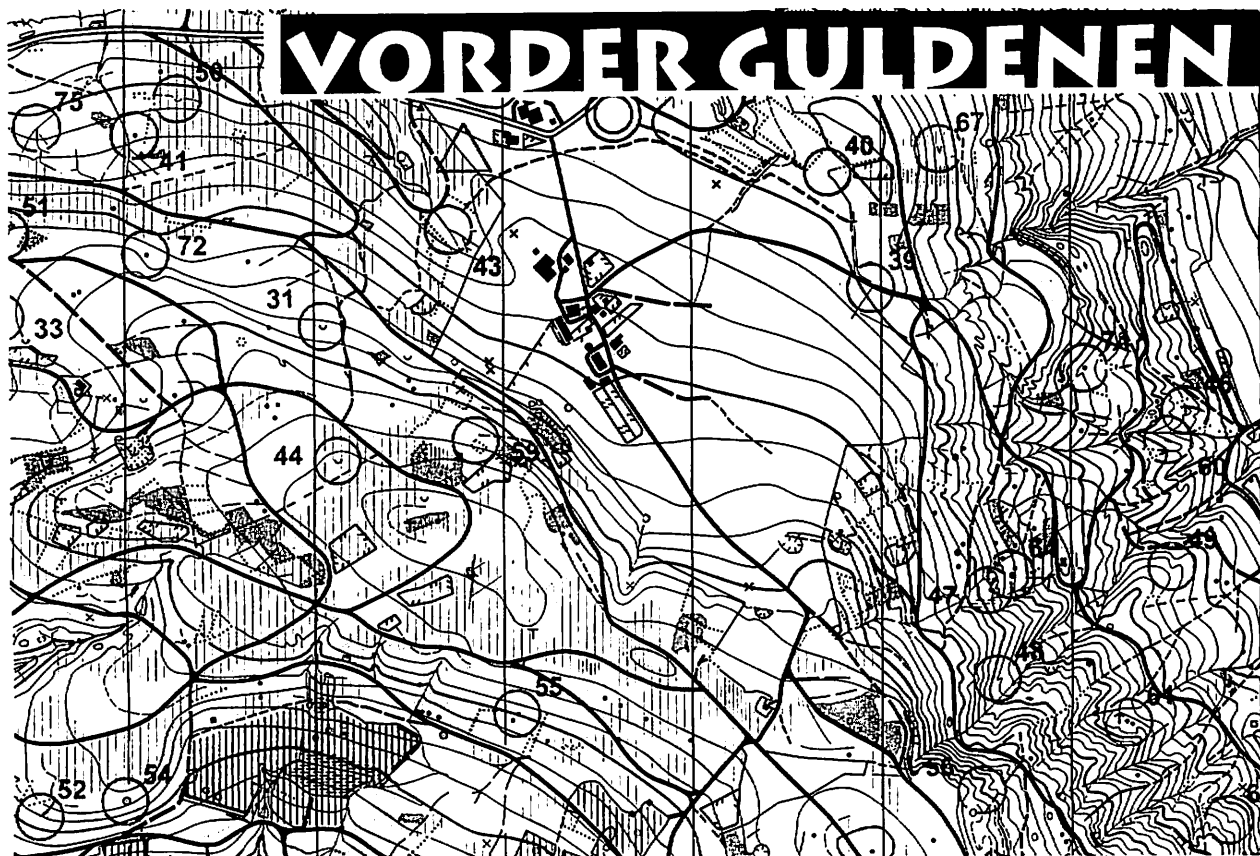
はじめに、今回の日本代表チームの世界選手権大会参加に際して、選手やスタッフの長期遠征を快くご承認頂いた所属長や上司の方々、様々な形で御支援・協力を頂いた皆様に感謝いたします。日本陸上競技連盟推薦で選手強化特別委員会委員としてご活躍頂いている有吉正博氏、田島三子男氏に感謝いたします。そして、日本で、また現地スイスで日本

選手を応援していただいた皆様に感謝いたします。

では、日本チームの成績を簡単に報告していきましょう（全成績は報告書の最後に掲載しています）。まずロングディスタンス。男子は鹿島田，紺野，高橋，女子は斎藤，塩田，宮内が予選レースに出場した。結果としては，予選通過にあと一步という18位に高橋，斎藤，宮内の3名が入ったものの予選通過ならず。現地での最終合宿の様子を見てみると，悪くても3名は予選通過，うまくいけば（可能性は少ないかもしれないが）全員通過と思っていたのだが，期待は全く逆の結果に終わってしまった。「重要なレースで実力を発揮できるようになるためにはトップレベルの大会の経験不足している」がと感じられたレースであった（海外レースに限定したのではなく，ここ一番のレースの経験不足）。

Rapperswilの街中で開催されたスプリント。男子山口，女子塩田がスタートし，塩田が23位という好成績を取めた。「23位がどうして好成績なの？」と思われる方も多と思いますが，これまでの日本人の最高順位は，27年前英国留学中だった杉山隆司氏が記録した26位。その後，競技形式（ショート/ミドルディスタンス，スプリントなど）が増えたものの，今回の塩田の23位が記録されるまで破られることがなかった記録である。今回その記録を更新したのである。表彰台までの道のりは長いが，記録更新ということについて素直に喜ぶたい。

次にミドルディスタンス。Rapperswil/Jonaの街から100km以上は慣れたTrinを中心に行われた。男子は高橋，村越，山口，女子は落合，斎藤，田島が予選レースに出場したが，結果は予選通過ゼロ。トレインは微地形地帯があるものの全体に易しいトレイン，かつ易しいコースセットがなされていたことが災いしたともいえるが，高速でのナビゲーション能力の不足は否めないだろう。しかし，2005年に向けての課題を提供してくれたレースであった。



最後にリレー。リレーについては、競技が行われる予定だったトレインが直前に使用不能になったことをお伝えしておく必要があるでしょう。通常、世界選手権大会レベルの国際大会では、予定していたトレインが山火事や特別な理由により使用できなる場合に備えてリザーブトレイン（予備トレイン）を用意しておく。今回の世界選手権大会も例外ではなく、リレー競技のリザーブトレインが用意されていた。しかし、大会開催3週間前に Rapperswil/Jona 周辺を襲った嵐により、トレイン内の木が根こそぎなぎ倒されたり、太い幹の途中から折れてしまうという事態が発生した（幅数十メートルの倒木エリアがあちこちに）。またリザーブトレインも予定トレインに隣接していたため、同時に被害にあってしまった。そして急遽、それまでトレーニングトレインとして開放していたトレインでのリレー開催になったのである。トレーニングトレインとして開放していたことで公平性に問題が残るのであるが、トレイン変更から3週間で世界選手権大会を開催できるレベルの地図とコースを仕上げたオーガナイザーには頭の下がる思いである。

日本チームは、それまでのレース状況や疲労の具合などを考慮し、男子は鹿島田、高橋、村越、女子は斎藤、塩田、田島のオーダーでレースに臨むことに。トレインは上記のように変更になり、極めて易しいものになった。結果としては、男子26位、女子24位（成績一覧ではMS（マススタート/ウムスタート）になっていますが、ちゃんとタッチしており提訴中）。易しいトレインそしてスピード勝負になったことで、一走で集団から取り残されてしまうと、挽回が難しかった。なお、女子チームが男子チームの順位を上回ったのは初めてであろう。

最後に、チームオフィシャルとして参加した第16回世界選手権大会（1995年）の報告書に次のような文章を書いていた。「…最後に個人的な夢を。しかし決して夢に終わらせたくない夢を。『2005年、日本で世界選手権大会、表彰台に日本人選手が・・・』」。そして、世界選手権大会が2005年に日本・愛知で開催されることが決まった。1995年の夢のうち50%が現実のものとなったのである。しかし、それは愛知県オリエンテーリング協会の努力によるものである。つぎは、日本人選手が表彰台に立つ夢を実現させるために選手や強化スタッフがこれまで以上に努力していく番である。

WOC2003 報告書

山岸 倫也

今回の世界選手権における女子の目標は、ロングとミドルにおける複数選手の決勝進出であった。結果としては、ボーダーラインにまでは複数選手が到達できたものの、決勝進出は1名もないという、ある意味惨敗に終わった。リレーにおいても最後まで競い続けて20位という目標は体力差の壁に改めてはね返された。一方で、予選通過の可能性を現実のものとして感じる事ができた選手が多かったことも事実である。本稿では種目ごとに選手とチームの評価を試みた。

また、種目が多様化するなかで、今回は事前に出場する種目をできる限り決定した。例えば塩田と宮内とロング、田島と落合はミドルという具合である。ロングとミドルでは、トレインのタイプが大きく異なるため、技術的な課題解決の負荷を軽減することで、決勝進出という目標の達成の可能性を高めるためである。残念ながら決勝進出という目標は達

成できなかったが、選手のパフォーマンスを高めることには寄与したと考えている。

ロング：今回、決勝進出の可能性を実感できたのはロングであった。日本の女子選手が長い距離に適応しているとは言いがたいが、少なくとも今回のロングのトレインとコースは、強豪国を含め他のチームの選手には難しい＝ミスをおかしやすいと感じられたようだ。そうした“いわゆるトリッキー”なレースであれば、現在の準備状況でも十分に決勝進出は可能である。日本の女子はいずれも予選落ちとなったが、3人の中で最も惜しいレースをしたのはボーダーから最もタイム差のあった塩田である。彼女が準備不足であった点は、海外での重要なレース経験だろう。本当に結果を出すべきレースの場数を踏んでいないため、緊張をうまくコントロールできなかった。彼女にとってロングの予選は通過して当然のものであって、今回予選落ちしたことで、逆にそれがいやというほど実感できたと思っている。斉藤も一時期の速さはないものの、確実にレースを進めれば、決勝進出の可能性が高いことを実感できたはずだ。彼女の最大の課題は速さよりもオリエンテーリング自体を楽しんでしまうことで、最速のルートプランが選びきれないことであろう。宮内は初出場ながら、伸び代の大きさを感じさせてくれた。彼女がオリエンテーリングで結果を出しているのは、秀でた走力を持ちながら、ナビゲーションで不安があると確実に止まることができる点にある。今後の課題は逆に、いかに止まらずに走るか、不安がどの程度ならば止まらずに進んだ方がトータルとして速いかを見極めることだろう。

スプリント：塩田の23位は、ついに杉山隆司の26位を（27年ぶりに）抜いて、世界選手権における日本人最高順位の更新である。時代や参加国数、ルールの変遷はあっても、世界選手権23位は素直に喜ばたいし、賞賛に値する。スピードでは日本の女子選手随一であっても、手続き的には必ずしもスプリントに対応できていない塩田が、こうした順位を得ることができたのは、彼女のポテンシャルの高さの反映である。今後、スプリント競技がどのような課題を要求する競技になっていくのかは不透明であるが、“いわゆるトリッキー”という意味では挑戦しがいのある種目である。

ミドル：今回の世界選手権における最大の誤算はミドルであった。日本の女子選手の準備が不足していたか否かという次元ではなく、トレインとコースが、北欧に生活の基盤を持つ選手にとってまったくイージーな設定だったからだ。地図を見た方はすぐに分かると思うが、ミドルのトレインは決して技術的にやさしいトレインではない。しかし、北欧のトレインに慣れ親しんでいる選手にとっては、簡単で走りやすいものと感じられたはずだ。実際に北欧勢は予選落ちした選手が皆無であったことがそれを物語っている。女子は全員が予選落ちしたものの田島と斉藤がボーダーラインであった。しかし、後一息じゃないかと問われたら、そのあと一息を克服するためには技術的にも体力的にもあとふた周りほど成長する必要があると答えるしかない。ベースは体力面での強化である。レース中の巡航スピードが上がって初めて技術的な課題が明確になる。田島はすでに総合的な体力面のレベルアップに取り組み始めており、それが技術的な成長をうまく促せば、可能性が見えてくるだろう。落合は結果こそ振るわなかったが、結果を出すのが非常に難しい課題にチャレンジしたことを記しておきたい。出産・育児は女子選手にとっては目の前の現実である。限られた時間の中で準備し、チームの他のメンバーとは異なった自分だけの目標に向かって調整するという課題に対する挑戦のプロセスは、今回は数字としての結果は伴わなかったが、長く競技を続けることを決意した女子選手にとっては良い手本でもあり、かつ他山

の石としてほしい。

リレー：リレーのトレインが予定されていた場所が7月中旬の激しい嵐によって倒木だらけとなり、急遽別のトレインに変更になったことはご存知のことだろう。この変更によって、トレインとコースは簡単になると予想されたが、実際には私の想像を越えて簡単な設定となってしまった。短い準備期間の中で公平さを保つためには、当然の帰結でもあり、我々はリレー競技が開催されたこと自体に感謝しなくてはならない。この場を借りて、オーガナイザーに改めて感謝の意を表したい。さて、今回の女子チームの目標は最後まで集団の中で競うことであつた。それが達成できれば20位が獲得できると予想した。結果としては体力差がそのまま反映されるレース展開となり、かつ一度開いた差を縮めるだけの武器（ライバルに秀でた走力）を持たない我々にとって非常に厳しいレースとなった。今回のリレーでは速く走ることの重要性を改めていやというほど思い知らされた。また、コーチとしての私にとって、リレーに誰を出すかは大きな課題であつた。塩田の最長区間への投入は当然としても、斉藤や田島の疲労度、宮内の可能性を勘案すると、（贅沢な）悩みは尽きなかった。可能性か確実性かという問いに対する私の答えを決定づけたのは、ロングやミドルで1人も決勝に出られなかったという現実であつた。「リレーでは確実に結果を出せるメンバーを選ぶ」というのはリレーの常識だが、結局はその常識に従うことになった。宮内の可能性と成長度を低く見積もっていたわけではないことは、言うまでもない。

謝辞：今回の遠征では、補欠としてあらゆる出番に備えてくれた渡辺の存在に感謝したい。彼女は技術的にも体力的にもまとまっておき、ロング、ミドルと異なるタイプのトレインに投入することになっても安心感があつた。正選手となるための課題はすでに十分に理解しているはずだ。次に選手のケアを担当してくれた宮本にもこの場を借りて感謝の意を表したい。トレーナーという役割のスタッフの帯同は初めてのことであつたが、選手が調整していく過程での安心感を得る上で彼女の存在は非常に大きかつた。今後、こうした専門技能を持ったスタッフの帯同は積極的に進めるべきであることが実証されたと思う。

まとめ：現時点では我々が決勝に進出するためには、“いわゆるトリッキー”な要素の多く含まれたトレイン、コースで競技が行われることが必要である。塩田はそうした要素がなくても、決勝に進出するだけの準備がほぼできていることが分かつたし、そういった手本が身近にあるということは、女子選手にとっては大きなかつ具体的な目標となる。我々にとっての課題は単純で、速く走ることである。それは体力的な意味も大きいだが、不整地や藪がちなトレインにおけるルート取り、見えないが確実にその特徴物の向こうにあるコントロールに向かつての動きなど、“走りのスキル”ともいうべき要素も大きい。そして、ナビゲーションのスピードが上がることで、技術的な課題はさらに明確になっていくだろう。いままでと何が違うかといえば、そうした準備を具体的かつ日常的に進めることをコミットした選手が確実にいるということだろう。そうした選手には、私もできる限りのサポートをしたいし、皆さんにも今後ともぜひ支援をお願いしたい。

WOC2003 報告

尾上 秀雄

初めて世界選手権でオフィシャルをやることになった。これまで数年間、ジュニア世界

選手権（JWOC）やユニバーのオフィシャルをやってきたが、やはり選手にとって最終目標になる世界選手権を内側から見ておきたいという気持ちが強かったのは確かだ。オフィシャルがやるべき仕事自体はそんなに変わらないはずだと思っていたのと、特に分担が決まっていなかったので見つけた仕事は何でもやるつもりでいた。

- 1) 技術面でフォローすることはほとんど無さそうだったこと。
- 2) 自分のことは自分でできる大人の集団であること。
- 3) 専任のトレーナーがいたのでフィジカルなケアは必要なかったこと。

などは想像していたとおりで、基本的なところでやることはほとんどなかった。結局、

- 1) 出場種目が異なる選手ごとに分かれての行動が必要だったこと。
- 2) 生活面での選手のストレスを少しでも軽減させること

を考えて、車の運転、買出し、宿との調整などをもつぱら行った。また一方では、

- 3) 情報の記録・発信

の必要性を感じていたので、ラップ解析・記録、写真撮影、Webでの発信などを行った。

- 4) 選手のメンタル面のフォロー

も必要性は感じた。しかし各選手とも準備に基づく自信は持っていたので、そういうレベルでは不要だった。必要な部分はもっと内面に深く入り込まないとできないことであり、それにはある程度の時間を掛けた信頼関係が前提となるので、今回はその必要性を見ただけで終わった。

世界選手権に来て一番感じたことは「結果がすべて」であり、「自己満足ではだめだ」ということだ。JWOCやユニバーの場合は、もちろん結果が良ければそれに越したことはないが、それはどこまで行ってもひとつのステップであり、次へつなげるための結果に過ぎない。ところが世界選手権では結果が出なければ評価されない。それまでやってきたことすべてが「結果」に集約されるからだ。それは厳しい世界である。

今回、チームに支援して下さった方々のリストを見て、本当に多くのそして幅広い人たちから期待されていることを知った。出場種目・日程の異なる各選手の要求に corres 応するために車が4台借りられたことは大きかったのだが、支援していただいた資金がちょうどこの費用に充当できると聞いたときは、改めてありがたいことだと思った。

選手は夢を追って努力する。それはとても孤独な戦いだが、支援する人も間接的に夢を共有して応援したいはずだ。そのことを考えれば、選手はもっと自分の夢を外に向けて語る必要があるだろう。結果がすべてだからこそプロセスを大事にする、という一見矛盾したアプローチだ。有言実行で取り組むことにより無言の応援を感じられるようになったら、それはきっとメンタル的にも充実したレースにつながるはずだ。選手にインタビューをして気づいたことだが、自分のホームページやOマガジンなどを通じて日ごろから情報発信をしている選手からは、すらすらと的確なメッセージが口をついて出てくる。選手全員がそういう状態になればすばらしいことだと思う。

いずれにしても今回、選手それぞれが精一杯の取り組みをして世界選手権に挑戦したことは間違いない。そして私自身、その場に居合わせてそれを見届けたことを幸せに思う。選手にはさらなる飛躍を望みつつ、これからも自分のできる範囲のことでお手伝いして行きたいと思う。

トレーナーとしての初めての海外遠征

宮本 知江子

私は、世界選手権の出場選手としての遠征経験は4回ありますが、今回はスタッフとして初めての参加でした。それも子育てをはさんでの10年ぶりの渡航ということで、行って帰ってくるだけでも緊張を伴うものでした。はじめて医療従事者としてのスタッフが選手団に加わる実験的な試みであるとともに、私が選手団に同行する事が決まったのは出発の1カ月少し前ということもあって、準備にかかる時間が余りなかったのもちょっと悔やまれるところです。しかし、今回の遠征メンバー選考がほぼ決定した4月からの合宿にはほとんど参加し、多くの選手の体を既に診せてもらっていたり、体調について話を聞かせてもらっていたので、遠征先でやるべき事についての段取りはほぼ整えることができました。

大会前一週間のトレーニングキャンプから毎日トレーニング日誌を選手に記入してもらい、走った距離や時間、疲労度を数字で表現することで、選手自身が自分の体調をチェックできるようにしました。その日誌はコーチや私に提出してもらって、必用に応じて私が選手に対してのケア(はり・きゅう・マッサージ)を行う体制をとりました。これまでは選手どおしのマッサージでそれぞれに負担がかかったり、疲労の原因が不明確なまま放置されたことがあったようですが、その点が大きく改善できたと思っています。

今回の大会日程はミドル予選からリレーまでは休息の日がなく、一人の選手が連続して出場するにはかなり厳しい日程が組まれていました。選手の出場種目の選択に応じて、その体のケアをしっかりと行うことが私の一つの大きな課題でした。残念ながらミドルの決勝を走った選手はいませんでした。ミドルとリレーの両種目に出場した選手もいて、その体調を整えることには随分気を遣いました。

今年のスイスは何十年来の猛暑といわれ、私の滞在中に2回スコールのような雨が短時間降った以外は晴れっぱなしで非常に暑かったことも、選手の体調に大きな影響を与えました。塩気の多い食品が食べたいという意見が聞かれ、筋肉疲労がないのに体がだるいという選手も多くいて、ミネラルバランスが乱れていることが示唆されました。そこで急遽、アイソトニック飲料(粉末)をスポーツ店で買い求め10リットルずつ作って各自水代わりに飲むようにしてもらいました。日本と違って、スーパーなどの一般食料品店では、アイソトニック飲料が売っていないのです。また、選手の一人がレース中に軽いケガをして、すぐにでも冷やしたいと氷を買い求めようとしたのですが、通常のスーパーには売っていませんでした。その場は流水で流しつづけることで対処できましたが、このようなことから、遠征先の国の一般店で、どのような物が手に入るか事前に状況調査するというのも今後気をつけるべき点としてあげられます。適当な物が身近にない場合は日本から持っていくことも考えなければなりません。

今回の遠征で得られた成果、挙げられた問題点を十分に生かし、今後は医療スタッフとの連携も前提に2005年に向けて活動の充実が望まれるところです。最後になりましたが、選手団への温かいご声援ありがとうございました。

成績

Long Distance Qualification Men A - Final Results

Rank	Name	Nation	Finish Time	Behind	Qualified
1	Mamleev Mikhail	RUS	1:07:43	0:00	Qualified
2	Jørgensen Carsten	DEN	1:08:05	+0:22	Qualified
3	Jedlicka Michal	CZE	1:08:40	+0:57	Qualified
4	Gonon François	FRA	1:09:01	+1:18	Qualified
5	Haldin Mats	FIN	1:09:18	+1:35	Qualified
6	Kristiansen Øystein	NOR	1:09:38	+1:55	Qualified
7	Rigoni Carlo	ITA	1:10:24	+2:41	Qualified
8	Wingstedt Emil	SWE	1:13:39	+5:56	Qualified
9	Krepšia Simonas	LTU	1:13:56	+6:13	Qualified
10	Marston Daniel	GBR	1:14:40	+6:57	Qualified
11	Pospisil Vitek	SVK	1:15:53	+8:10	Qualified
12	Ushkvarok Pavlo	UKR	1:16:39	+8:56	Qualified
13	Helmingor Norbert	AUT	1:17:02	+9:19	Qualified
14	Zhuravlev Andrei	BLR	1:18:04	+10:21	Qualified
15	Forne Chris	NZL	1:21:30	+13:47	Qualified
16	Quayle Tom	AUS	1:21:49	+14:06	Qualified
17	Krumins Janis	LAT	1:22:26	+14:43	Qualified
18	Thierolf Michael	GER	1:22:56	+15:13	
19	May Brian	USA	1:23:22	+15:39	
20	Mihaylov Mihail	BUL	1:23:59	+16:16	
21	Denes Zoltan	HUN	1:24:30	+16:47	
22	Healy David	IRL	1:24:54	+17:11	
23	Langbakk Brent	CAN	1:27:11	+19:28	
24	Salopek Tihomir	CRO	1:28:50	+21:07	
25	Gilot Jan	BEL	1:29:06	+21:23	
26	Ferrer Ferrer Lluís	ESP	1:29:08	+21:25	
27	Konno Shunsuke	JPN	1:32:24	+24:41	
28	Aires Tiago	POR	1:32:32	+24:49	
29	Bauer Dragisa	SCG	1:34:51	+27:08	
30	Marchenko Alexey	ISR	1:37:07	+29:24	
31	Chung Chi Ming	HKG	1:53:58	+46:15	
32	Mulder Nicholas	RSA	1:59:51	+52:08	
33	Telnov Vladimir	KAZ	2:13:47	+1:06:04	
	Hnibar Andraz	SLO	Disqualified		
	Bentz Felix	SUI	Disqualified		
	Yu-Chia Wu	TPE	Disqualified		

Long Distance Qualification Men B - Final Results

Rank	Name	Nation	Finish Time	Behind	Qualified
1	Omeltchenko Yuri	UKR	1:08:08	0:00	Qualified
2	Bührer Thomas	SUI	1:08:43	+0:35	Qualified
3	Johansen Holger Hott	NOR	1:09:39	+1:31	Qualified
4	Smola Michal	CZE	1:11:20	+3:12	Qualified
5	Nikolov Kiril	BUL	1:11:58	+3:50	Qualified
6	Modig Johan	SWE	1:12:27	+4:19	Qualified
7	Duncan Jon	GBR	1:12:53	+4:45	Qualified
8	Breitschädel Felix	AUT	1:14:35	+6:27	Qualified
9	Huovila Jarkko	FIN	1:14:50	+6:42	Qualified
10	Sulcys Nerijus	LTU	1:16:39	+8:31	Qualified
11	Avaste Tarvo	EST	1:16:51	+8:43	Qualified
12	Horst Ingo	GER	1:16:52	+8:44	Qualified
13	Efimov Roman	RUS	1:18:02	+9:54	Qualified
14	Schlagguter Klaus	ITA	1:20:26	+12:18	Qualified
15	Mikhailkin Dmitriy	BLR	1:20:41	+12:33	Qualified
16	Duca Nick	CAN	1:20:44	+12:36	Qualified
16	Bourrin Jean-Baptiste	FRA	1:20:44	+12:36	Qualified
18	Takahashi Yoshinori	JPN	1:20:51	+12:43	
19	Hendrickx Pieter	BEL	1:20:54	+12:46	
20	Pasion Rodriguez Pedro	ESP	1:23:19	+15:11	
21	Zernis Oskars	LAT	1:23:23	+15:15	
22	Brabiescu Paul Marius	ROM	1:23:52	+15:44	
23	Barbour Greg	NZL	1:25:07	+16:59	
24	Davidik Marian	SVK	1:26:13	+18:05	
25	Levai Ferenc	HUN	1:27:40	+19:32	
26	Brickhill-Jones David	AUS	1:28:32	+20:24	
27	Bone Eric	USA	1:30:35	+22:27	
28	Quin Andrew	IRL	1:31:33	+23:25	
29	Legac Lino	CRO	1:33:35	+25:27	
30	Valente Joao Pedro	POR	1:34:01	+25:53	
31	Alon Tamir	ISR	1:36:02	+27:54	
32	Heikoop Mark	NED	1:53:16	+45:08	
33	Belskij Vladimir	KAZ	1:56:08	+48:00	
34	De Klerk Gary	RSA	2:10:20	+1:02:12	
35	Chau Po Lok	HKG	2:36:04	+1:27:56	
	Avramovic Dejan	SCG	Disqualified		
	Fenger-Grön Morten	DEN	Disqualified		

Long Distance Qualification Men C - Final Results

Rank	Name	Nation	Finish Time	Behind	Qualified
1	Valstad Björnar	NOR	1:09:38	0:00	Qualified
2	Domonyik Gabor	HUN	1:11:56	+2:22	Qualified
3	Lakanen Jani	FIN	1:12:09	+2:33	Qualified
4	Kärner Olo	EST	1:13:03	+3:27	Qualified
5	Jonasson Niclas	SWE	1:14:07	+4:31	Qualified
6	Lauenstein Marc	SUI	1:14:35	+4:59	Qualified
7	Johnson Oli	GBR	1:15:40	+6:04	Qualified
8	Mukhidinov Vyacheslav	UKR	1:17:55	+8:19	Qualified
9	Walter Rob	AUS	1:18:33	+8:57	Qualified
10	Lucan Vladimir	CZE	1:18:40	+9:04	Qualified
11	Wallner Jozef	SVK	1:19:06	+9:30	Qualified
12	Nielsen Troets	DEN	1:19:33	+9:57	Qualified
13	Krejci Thomas	AUT	1:20:05	+10:29	Qualified
14	Casal Fernandez Roger	ESP	1:20:39	+11:03	Qualified
15	Vegeris Girts	LAT	1:21:20	+11:44	Qualified
16	Mironov Dmitriy	BLR	1:22:28	+12:52	Qualified
17	Fischer Axel	GER	1:24:26	+14:50	Qualified
18	Corona Pierpaolo	ITA	1:24:52	+15:16	
19	Bacys Modestas	LTU	1:25:16	+15:40	
20	Grabowski Maciej	POL	1:25:24	+15:48	
21	Peyvel Benoit	FRA	1:25:40	+16:04	
22	Simkens Geert	BEL	1:29:09	+19:33	
23	Sousa Joaquim	POR	1:30:25	+20:49	
24	Todorov Teodor	BUL	1:33:37	+24:01	
25	Scarborough James	USA	1:35:00	+25:24	
26	Kashimada Koji	JPN	1:35:46	+26:10	
27	Griff Daniel	ISR	1:36:47	+27:11	
28	Delic Petar	CRO	1:40:16	+30:40	
29	Jessop Rob	NZL	1:44:57	+35:21	
30	O'Brien Brendan	IRL	1:47:47	+38:11	
31	Nalobin Valerij	KAZ	1:49:58	+40:22	
32	Piltaver Jaka	SLO	1:53:26	+43:50	
33	Gathercole Richard	RSA	1:54:55	+45:19	
34	Smith Wil	CAN	1:55:29	+45:53	
35	Matuski Vladimir	SCG	1:57:19	+47:43	
36	Liang Chi Hang	HKG	2:15:18	+1:05:42	
	Novikov Valentine	RUS	Disqualified		

Long Distance Qualification Women A - Final Results

Rank	Name	Nation	Finish Time	Behind	Qualified
1	Romanens Marie-Luce	SUI	52:04	0:00	Qualified
2	Monro Heather	GBR	53:34	+1:30	Qualified
3	Rakayova Martina	SVK	53:53	+1:49	Qualified
4	Engstrand Emma	SWE	54:17	+2:13	Qualified
5	Huseby Brigitte	NOR	55:45	+3:41	Qualified
6	Gann Folkegard Anna	ESP	55:54	+3:50	Qualified
7	Robinson Tania	NZL	55:59	+3:55	Qualified
8	Potopalska Nataliya	UKR	56:26	+4:22	Qualified
9	Dodin Céline	FRA	57:39	+5:35	Qualified
10	Holster Terhi	FIN	57:59	+5:55	Qualified
11	Baczek Barbara	POL	58:30	+6:26	Qualified
12	Key Natasha	AUS	58:43	+6:39	Qualified
13	Olesen Anne Konring	DEN	1:00:21	+8:17	Qualified
14	Hermans Aline	BEL	1:01:00	+8:56	Qualified
14	Jaeger Meike	GER	1:01:00	+8:56	Qualified
16	Stehnova Zuzana	CZE	1:01:50	+9:46	Qualified
17	Sitdikova Aliya	RUS	1:02:14	+10:10	Qualified
18	Razaitiene Jolanta	LTU	1:02:18	+10:14	
19	Wengrin Agnes	HUN	1:03:24	+11:20	
20	Rottensteiner Sabine	ITA	1:03:59	+11:55	
21	Goiseva Lyudmila	BUL	1:05:13	+13:09	
22	Shioda Misa	JPN	1:05:23	+13:19	
23	Maiorescu Irina	ROM	1:08:24	+16:20	
24	Susta Ieva	LAT	1:09:24	+17:20	
25	Williams Karen	USA	1:20:47	+28:43	
26	Kandratsyeva Aliaksandra	BLR	1:22:34	+30:30	
27	McNeil Philippa	CAN	1:26:09	+34:05	
28	van Opstal Lieke	NED	1:27:34	+35:30	
29	Mulder Michele	RSA	1:33:25	+41:21	
30	Chsheglova Irina	KAZ	1:35:06	+43:02	
31	Leung Julie	HKG	1:52:28	+1:00:24	

Long Distance Qualification Women B - Final Results

Date: Monday, August 4th, 2003 Length: 6.2 km
 Location: Unterägeri Climb: 220 m
 Map: Zugerberg Controls: 14

Rank	Name	Nation	Finish Time	Behind	Qualified
1	Arewang Højsgaard Karolina	SWE	56:01	0:00	Qualified
1	Haapakoski Paula	FIN	56:01	0:00	Qualified
3	Wolf Brigitte	SUI	57:19	+1:18	Qualified
4	Brozkova Dana	CZE	59:10	+3:09	Qualified
5	Ryabkina Tatiana	RUS	59:48	+3:47	Qualified
6	Skrastina Aija	LAT	1:00:57	+4:56	Qualified
7	Spasyuk Mariya	UKR	1:02:01	+6:00	Qualified
8	Kärger Luise	GER	1:04:34	+8:33	Qualified
9	Rudzenskaite Vilma	LTU	1:07:01	+11:00	Qualified
10	Makrai Eva	HUN	1:07:35	+11:34	Qualified
11	Hausner Helene	DEN	1:07:57	+11:56	Qualified
12	Whitehead Jenny	GBR	1:08:38	+12:37	Qualified
13	Fauner Renate	ITA	1:08:50	+12:49	Qualified
13	Andersen Marianne	NOR	1:08:50	+12:49	Qualified
15	Hohenwarter Elisabeth	AUT	1:10:16	+14:15	Qualified
16	Dimitrova Nataliya	BUL	1:11:18	+15:17	Qualified
17	Jones Allison	AUS	1:12:31	+16:30	Qualified
18	Saito Sanae	JPN	1:14:07	+18:06	
19	Zhuravleva Oksana	BLR	1:14:13	+18:12	
20	Minoiu Veronica	ROM	1:15:51	+19:50	
21	Manissolle Perrine	FRA	1:16:07	+20:06	
22	Linton Violet	IRL	1:19:19	+23:18	
23	Gil Brotons Esther	ESP	1:19:22	+23:21	
24	Schutjes Elisabeth	BEL	1:22:30	+26:29	
25	Zürcher Sandra	USA	1:23:13	+27:12	
26	Ocvirk Eva	CRO	1:25:00	+28:59	
27	Paterson Claire	NZL	1:26:43	+30:42	
28	Costa Raquel	POR	1:40:46	+44:45	
29	Kitchin Kathy	RSA	1:45:12	+49:11	
30	Chuprikova Natalija	KAZ	1:55:46	+59:45	
31	Scheck Katherine	CAN	1:59:02	+1:03:01	

Long Distance Qualification Women C - Final Results

Date: Monday, August 4th, 2003 Length: 6.0 km
 Location: Unterägeri Climb: 230 m
 Map: Zugerberg Controls: 13

Rank	Name	Nation	Finish Time	Behind	Qualified
1	Luder Simone	SUI	43:05	0:00	Qualified
2	Staff Hanne	NOR	44:32	+1:27	Qualified
3	Gemperle Sara	SUI	46:48	+3:43	Qualified
4	Smith Katarina	SWE	47:00	+3:55	Qualified
5	Fey Zsuzsa	ROM	49:12	+6:07	Qualified
6	Novikova Yulia	RUS	49:52	+6:47	Qualified
7	Allison Jo	AUS	51:17	+8:12	Qualified
8	Dambe Inga	LAT	51:44	+8:39	Qualified
9	Sargautyte Ieva	LTU	52:02	+8:57	Qualified
10	Anttila Liisa	FIN	52:25	+9:20	Qualified
11	Wootton Hannah	GBR	53:13	+10:08	Qualified
12	Sterbova Marta	CZE	55:58	+12:53	Qualified
13	Höyer Maria	DEN	57:03	+13:58	Qualified
14	Schmalfeld Karin	GER	57:12	+14:07	Qualified
15	Smith Rachel	NZL	57:47	+14:42	Qualified
16	Hott Johansen Sandy	CAN	59:44	+16:39	Qualified
17	Farkas Zsuzsanna	HUN	1:01:02	+17:57	Qualified
18	Miyauchi Sakiko	JPN	1:03:44	+20:39	
19	Gathercole Christine	AUT	1:05:32	+22:27	
20	Rebane Kiri	EST	1:05:49	+22:44	
21	Shandurkova Iliana	BUL	1:05:53	+22:48	
22	Gil Brotons Veronica	ESP	1:07:32	+24:27	
23	Depta Monika	POL	1:08:12	+25:07	
24	Oeyen Greet	BEL	1:08:51	+25:46	
25	Olafsen Erin	USA	1:09:08	+26:03	
26	Miklusova Jana	SVK	1:10:28	+27:23	
27	Kornilova Galina	KAZ	1:11:54	+28:49	
28	Voskoboinikova Tatiana	BLR	1:13:43	+30:38	
29	Plokhenko Viktoriya	UKR	1:17:02	+33:57	
30	Olsson Lo Maureen	HKG	1:25:54	+42:49	
31	Austin Fionne	IRL	1:34:53	+51:48	

Sprint Final Men - Final Results

Date: Tuesday, August 5th, 2003 Length: 2.8 km
 Location: Rapperswil Climb: 60 m
 Map: Rapperswil Controls: 18

Rank	Name	Nation	Finish Time	Behind
1	Stevenson Jamie	GBR	12:43.7	0:00.0
2	Ropek Rudolf	CZE	13:02.8	+0:19.1
3	Gueorgiou Thierry	FRA	13:04.2	+0:20.5
4	Ormelchenko Yuri	UKR	13:08.7	+0:25.0
5	Mamleev Mikhail	RUS	13:09.4	+0:25.7
6	Schneider David	SUI	13:18.1	+0:34.4
7	Losman Petr	CZE	13:22.3	+0:38.6
8	Bluett Grant	AUS	13:25.3	+0:41.6
9	Muukkonen Petteri	FIN	13:30.0	+0:46.3
10	Kropf Sven	SUI	13:30.4	+0:46.7
11	Sandvik Tore	NOR	13:34.7	+0:51.0
12	Nikolov Kiril	BUL	13:39.8	+0:56.1
13	Rokkjär René	DEN	13:40.7	+0:57.0
14	Rigoni Carlo	ITA	13:40.8	+0:57.1
15	Björnsgaard Bernt	NOR	13:41.1	+0:57.4
16	Hramov Andrei	RUS	13:48.1	+1:04.4
17	De Haas Troy	AUS	13:48.5	+1:04.8
18	Renard Damien	FRA	13:52.0	+1:08.3
19	Ikonen Pasi	FIN	13:55.3	+1:11.6
20	Domyenyk Gabor	HUN	13:59.3	+1:15.6
21	Barrable Nick	GBR	13:59.8	+1:16.1
22	Voveris Edgaras	LTU	14:05.2	+1:21.5
23	Horst Ingo	GER	14:08.9	+1:25.2
24	Näsman Johan	SWE	14:10.5	+1:26.8
25	Povoa Marco	POR	14:17.3	+1:33.6
26	Banach Robert	POL	14:17.4	+1:33.7
27	Bustillo Ruiz Alfonso	ESP	14:22.2	+1:38.5
28	Tschopp Marcel	LIE	14:27.9	+1:44.2
29	Kaltenbacher Pierre	AUT	14:37.8	+1:54.1
30	Forne Chris	NZL	14:39.3	+1:55.6
31	Terry Martin	RSA	14:44.3	+2:00.6
32	Porzycz Janusz	POL	14:47.1	+2:03.4
33	Bartak Lukas	SVK	14:58.6	+2:14.9
34	Gavrylenko Vitaliy	UKR	15:01.1	+2:17.4
35	Zhuravlev Vyacheslav	BLR	15:08.1	+2:24.4
36	Yamaguchi Daisuke	JPN	15:12.1	+2:28.4
37	Zazgornik Jan	AUT	15:14.1	+2:30.4
38	Kraas Andreas	EST	15:17.5	+2:33.8
39	Salopek Tihomir	CRO	15:25.4	+2:41.7
40	Levai Ferenc	HUN	15:36.6	+2:52.9
41	Griff Daniel	ISR	15:50.7	+3:07.0
42	Bourke Niall	IRL	16:10.5	+3:26.8
43	Anderlun Gregor	SLO	16:12.2	+3:28.5
44	Brabiescu Paul Marius	ROM	16:12.8	+3:29.1
45	Granovskiy Boris	USA	16:27.0	+3:43.3
46	Bauer Dragisa	SCG	16:31.6	+3:47.9
47	Sirmais Martins	LAT	16:46.3	+4:02.6
48	Hui Siu Tung	HKG	17:32.3	+4:48.6
49	Smith Mike	CAN	17:43.3	+4:59.6
50	Heikoop Mark	NED	17:45.8	+5:02.1
51	Nalobin Valerij	KAZ	22:25.3	+9:41.6
	Lund Mikkel	DEN		Disqualified
	Hendrickx Pieter	BEL		Disqualified
	Davidik Marian	SVK		Disqualified
	Olsson Jörgen	SWE		Disqualified

Sprint Final Women - Final Results

Date: Tuesday, August 5th, 2003 Length: 2.6 km
 Location: Rapperswil Climb: 60 m
 Map: Rapperswil Controls: 17

Rank	Name	Nation	Finish Time	Behind
1	Luder Simone	SUI	13:21.3	0:00.0
2	Romanens Marie-Luce	SUI	13:30.8	+0:09.5
3	Johansson Jenny	SWE	13:40.1	+0:18.8
4	König-Salmi Vroni	SUI	13:47.1	+0:25.8
5	Svärd Gunilla	SWE	14:24.6	+1:03.3
6	Hausken Anne Margrethe	NOR	14:24.7	+1:03.4
7	Kokkala Reeta	FIN	14:32.6	+1:11.3
8	Kauppi Minna	FIN	14:32.9	+1:11.6
9	Rollins Sarah	GBR	14:42.2	+1:20.9
10	Key Natasha	AUS	14:53.5	+1:32.2
11	Olesen Anne Konring	DEN	15:02.3	+1:41.0
12	Ingvaldsen Elisabeth	NOR	15:02.4	+1:41.1
13	Dodin Céline	FRA	15:09.5	+1:48.2
14	Gschöpl Brigitte	AUT	15:14.5	+1:53.2
15	Baczek Barbara	POL	15:15.2	+1:53.9
16	Fey Zsuzsa	ROM	15:23.7	+2:02.4
17	Bridle Helen	GBR	15:30.0	+2:08.7
18	Gornicka-Antonowicz Anna	POL	15:34.3	+2:13.0
19	Voveriene Giedre	LTU	16:06.0	+2:44.7
20	Gil Brotons Esther	ESP	16:10.9	+2:49.6
21	Robinson Tania	NZL	16:12.5	+2:51.2
22	Eisi Andrea	AUT	16:21.9	+3:00.6
23	Shioda Misa	JPN	16:22.5	+3:01.2
24	Potopalska Nataliya	UKR	16:27.2	+3:05.9
25	Rudzenskaite Vilma	LTU	16:30.3	+3:09.0
26	Navratilova Iva	CZE	16:33.5	+3:12.2
27	Rakayova Martina	SVK	16:35.2	+3:13.9
28	Costa Raquel	POR	16:42.9	+3:21.6
29	Annus Anu	EST	16:47.9	+3:26.6
30	Fischer Gunda	GER	16:56.2	+3:34.9
31	Grigorova Antoniya	BUL	17:01.9	+3:40.6
32	Dambe Inga	LAT	17:03.1	+3:41.8
33	Miklusova Jana	SVK	17:05.0	+3:43.7
34	Wengrin Agnes	HUN	17:13.7	+3:52.4
35	Ewels Kathryn	AUS	17:17.0	+3:55.7
36	Kostyleva Talyana	RUS	17:18.1	+3:56.8
37	Soots Viivi-Anne	EST	17:19.2	+3:57.9
38	Kandratsyeva Aliaksandra	BLR	17:30.1	+4:08.8
39	Zürcher Sandra	USA	18:08.6	+4:47.3
40	Gil Brotons Veronica	ESP	18:46.7	+5:25.4
41	Ocvirk Eva	CRO	19:17.6	+5:56.3
42	van Opstal Lieke	NED	19:23.2	+6:01.9
43	Mulder Michele	RSA	20:38.0	+7:16.7
44	Scheck Katherine	IRL	21:05.1	+7:44.2
45	Scheck Katherine	CAN	21:16.1	+7:54.8
	Dockalova Martina	CZE		Disqualified
	Dahl Dorte	DEN		Disqualified
	Dresen Elisa	GER		Disqualified
	Scaravonati Laura	ITA		Disqualified
	Chsheglova Irina	KAZ		Disqualified
	Novikova Yulia	RUS		Disqualified
	Hermans Aline	BEL		Disqualified

Long Distance Final Men - Final Results

Rank	Name	Course	Nation	Finish Time	Behind
1	Bührer Thomas	MEN1	SUI	1:48:20	0:00
2	Ormelchenko Yuri	MEN2	UKR	1:50:35	+2:15
3	Wingstedt Emil	MEN2	SWE	1:51:08	+2:48
4	Jørgensen Carsten	MEN2	DEN	1:51:42	+3:22
5	Mamleev Mikhail	MEN1	RUS	1:51:55	+3:35
6	Valstad Bjørnar	MEN1	NOR	1:52:00	+3:40
7	Lakanen Jari	MEN1	FIN	1:52:07	+3:47
8	Johansen Holger Hott	MEN2	NOR	1:52:44	+4:24
9	Jedlicka Michal	MEN1	CZE	1:52:49	+4:29
10	Modig Johan	MEN1	SWE	1:53:04	+4:44
11	Kristiansen Øystein	MEN2	NOR	1:54:57	+6:37
12	Kärner Otle	MEN2	EST	1:54:58	+6:38
13	Krejci Thomas	MEN1	AUT	1:55:47	+7:27
14	Marston Daniel	MEN2	GBR	1:56:09	+7:49
15	Nikolov Kiril	MEN2	BUL	1:56:46	+8:26
16	Haldin Mats	MEN1	FIN	1:57:07	+8:47
17	Huovila Jarkko	MEN2	FIN	1:57:56	+9:36
18	Domonyik Gabor	MEN2	HUN	1:59:28	+11:08
19	Jonasson Niclas	MEN1	SWE	1:59:34	+11:14
20	Efimov Roman	MEN2	RUS	2:00:17	+11:57
21	Lauenstein Marc	MEN2	SUI	2:00:30	+12:10
22	Horst Ingo	MEN1	GER	2:00:39	+12:19
23	Lucan Vladimir	MEN2	CZE	2:00:51	+12:31
24	Mukhidinov Vyacheslav	MEN2	UKR	2:01:51	+13:31
25	Duncan Jon	MEN1	GBR	2:03:27	+15:07
26	Pospisil Vitek	MEN1	SVK	2:03:48	+15:28
27	Sulcys Nerijus	MEN1	LTU	2:04:06	+15:46
28	Smola Michal	MEN1	CZE	2:04:35	+16:15
29	Vegeris Girts	MEN1	LAT	2:05:11	+16:51
30	Quayle Tom	MEN2	AUS	2:06:05	+17:45
31	Bourrin Jean-Baptiste	MEN2	FRA	2:06:14	+17:54
32	Krepsta Simonas	MEN1	LTU	2:06:56	+18:36
33	Walter Rob	MEN1	AUS	2:07:25	+19:05
34	Wallner Jozef	MEN1	SVK	2:07:44	+19:24
35	Mironov Dmitriy	MEN2	BLR	2:11:29	+23:09
36	Helming Norbert	MEN1	AUT	2:14:16	+25:56
37	Rigoni Carlo	MEN2	ITA	2:15:42	+27:22
38	Casal Fernandez Roger	MEN2	ESP	2:15:58	+27:38
39	Nielsen Troels	MEN2	DEN	2:16:08	+27:48
40	Duca Nick	MEN1	CAN	2:16:58	+28:38
41	Fischguler Klaus	MEN1	ITA	2:18:19	+29:59
42	Fischer Axel	MEN1	GER	2:19:00	+30:40
43	Zhuravlev Andrei	MEN2	BLR	2:19:17	+30:57
44	Forne Chns	MEN1	NZL	2:20:11	+31:51
45	Mikhalkin Dmitriy	MEN2	BLR	2:20:15	+31:55
46	Ushkvarok Pavlo	MEN2	UKR	2:21:21	+33:01
47	Breitschädel Felix	MEN1	AUT	2:24:14	+35:54
	Avaste Tarvo	MEN2	EST	Disqualified	
	Gonon François	MEN2	FRA	Disqualified	
	Krumins Janis	MEN1	LAT	Disqualified	
	Johnson Oli	MEN1	GBR	Disqualified	

Middle Distance Qualification Men A - Final Results

Rank	Name	Nation	Finish Time	Behind	Qualified
1	Gueorgiou Thierry	FRA	21:27	0:00	Qualified
2	Steinmann Denis	SUI	23:14	+1:47	Qualified
3	Rostrup Jörgen	NOR	23:39	+2:12	Qualified
4	Peltola Juha	FIN	23:50	+2:23	Qualified
5	Novikov Leonid	RUS	24:13	+2:46	Qualified
6	Porzycz Janusz	POL	24:18	+2:51	Qualified
7	Terkelsen Chris	DEN	24:22	+2:55	Qualified
8	Sulcys Nerijus	LTU	24:29	+3:02	Qualified
9	Casal Fernandez Roger	ESP	24:59	+3:32	Qualified
10	Shepherd David	AUS	25:00	+3:33	Qualified
11	Trygesson Henrik	SWE	25:11	+3:44	Qualified
12	Johnson Oli	GBR	25:35	+4:08	Qualified
13	Jedlicka Michal	CZE	25:37	+4:10	Qualified
14	Mohn Christian	AUT	25:46	+4:19	Qualified
15	May Brian	USA	25:53	+4:26	Qualified
16	Corona Emiliano	ITA	26:57	+5:30	Qualified
17	Mironov Dmitriy	BLR	27:01	+5:34	Qualified
18	Todorov Teodor	BUL	27:26	+5:59	
19	Avaste Tarvo	EST	27:52	+6:25	
20	Krumins Janis	LAT	27:53	+6:26	
21	Takahashi Yoshinori	JPN	27:57	+6:30	
22	Fischer Axel	GER	28:02	+6:35	
23	Smith Mike	CAN	28:34	+7:07	
24	Ormelchenko Yuri	UKR	28:48	+7:21	
25	Forra Gabor	HUN	29:15	+7:48	
26	Pasquasy Fabien	BEL	29:38	+8:11	
27	Valente Joao Pedro	POR	29:40	+8:13	
28	Terry Martin	RSA	29:49	+8:22	
29	Bartak Lukas	SVK	31:01	+9:34	
30	Dobbs Neil	IRL	32:25	+10:58	
31	Ocvirk Edi	CRO	34:12	+12:45	
32	Nalobin Valerij	KAZ	34:46	+13:19	
33	Barbour Greg	NZL	35:45	+14:18	
34	Marchenko Alexey	ISR	35:51	+14:24	
35	Piltaver Jaka	SLO	36:30	+15:03	
36	Hui Siu Tung	HKG	40:11	+18:44	
37	Avramovic Dejan	SCG	45:47	+24:20	
	Brabiescu Paul Marius	ROM	Disqualified		

Long Distance Final Women - Final Results

Rank	Name	Nation	Finish Time	Behind
1	Luder Simone	SUI	1:26:14	0:00
2	Arewang Højsgaard Karolina	SWE	1:29:19	+3:05
3	Woll Brigitte	SUI	1:32:52	+6:38
4	Engstrand Emma	SWE	1:33:59	+7:45
5	Gemperle Sara	SUI	1:34:28	+8:14
6	Baczek Barbara	POL	1:34:31	+8:17
7	Staff Hanne	NOR	1:34:57	+8:43
8	Andersen Marianne	NOR	1:36:17	+10:03
9	Schmalfeld Karin	GER	1:36:28	+10:14
10	Rakayova Martina	SVK	1:36:29	+10:15
11	Brozkova Dana	CZE	1:36:50	+10:36
12	Novikova Yulia	RUS	1:36:52	+10:38
13	Holster Terhi	FIN	1:37:28	+11:14
14	Monro Heather	GBR	1:38:36	+12:22
15	Fey Zsuzsa	ROM	1:40:00	+13:46
16	Sterbova Maria	CZE	1:40:21	+14:07
17	Garin Folkegard Anna	ESP	1:40:32	+14:18
18	Huseby Brigitte	NOR	1:40:39	+14:25
19	Smith Katarina	SWE	1:41:43	+15:29
20	Ryakina Tatiana	RUS	1:43:27	+17:13
21	Sargautyle Ieva	LTU	1:44:00	+17:46
22	Olesen Anne Konring	DEN	1:45:10	+18:56
23	Wootton Hannah	GBR	1:45:12	+18:58
24	Allison Jo	AUS	1:45:20	+19:06
25	Höyer Maria	DEN	1:46:08	+19:54
26	Spasyuk Mariya	UKR	1:46:54	+20:40
27	Makrai Eva	HUN	1:47:00	+20:46
28	Rudzenskaite Vilma	LTU	1:47:31	+21:17
29	Key Natasha	AUS	1:48:31	+22:17
30	Sitdikova Aliya	RUS	1:48:40	+22:26
31	Hausner Helene	DEN	1:49:11	+22:57
32	Robinson Tania	NZL	1:49:56	+23:42
33	Jones Allison	AUS	1:50:12	+23:58
34	Dodin Céline	FRA	1:50:23	+24:09
35	Whitehead Jenny	GBR	1:50:51	+24:37
36	Kärger Luise	GER	1:51:20	+25:06
37	Haapakoski Paula	FIN	1:51:42	+25:28
38	Jaeger Melke	GER	1:51:49	+25:35
39	Damba Inga	LAT	1:52:02	+25:48
40	Siehnova Zuzana	CZE	1:52:03	+25:49
41	Fauner Renate	ITA	1:53:42	+27:28
42	Skrastina Aija	LAT	1:54:58	+28:44
43	Hermans Aine	BEL	1:58:39	+32:25
44	Holt Johansen Sandy	CAN	1:59:39	+33:25
45	Smith Rachel	NZL	2:00:45	+34:31
46	Farkas Zsuzsanna	HUN	2:00:59	+34:45
47	Dimitrova Nataliya	BUL	2:08:54	+42:40
	Anttila Lisa	FIN	Disqualified	
	Hohenwarter Elisabeth	AUT	Disqualified	
	Romanens Marie-Luce	SUI	Disqualified	
	Potopalska Nataliya	UKR	Disqualified	

Middle Distance Qualification Men B - Final Results

Rank	Name	Nation	Finish Time	Behind	Qualified
1	Davidik Marian	SVK	22:36	0:00	Qualified
2	Valstad Bjørnar	NOR	22:52	+0:16	Qualified
3	Domonyik Gabor	HUN	22:56	+0:20	Qualified
4	Bluett Grant	AUS	22:57	+0:21	Qualified
5	Näsman Johan	SWE	23:00	+0:24	Qualified
6	Salmi Janne	FIN	23:25	+0:49	Qualified
7	Stevenson Jamie	GBR	23:26	+0:50	Qualified
8	Gavrylenko Vitaliy	UKR	23:31	+0:55	Qualified
9	Niggli Matthias	SUI	23:44	+1:08	Qualified
10	Girsch Nicolas	FRA	24:27	+1:51	Qualified
11	Voveris Edgaras	LTU	24:39	+2:03	Qualified
12	Sirmais Martins	LAT	25:08	+2:32	Qualified
13	Zazgornik Jan	AUT	25:15	+2:39	Qualified
14	Nielsen Troels	DEN	25:16	+2:40	Qualified
15	Novikov Valenline	RUS	25:30	+2:54	Qualified
16	Iliev Lachezar	BUL	25:54	+3:18	Qualified
17	Schgaguler Klaus	ITA	26:00	+3:24	Qualified
18	Simkens Geert	BEL	26:23	+3:47	
19	Povoa Marco	POR	26:23	+3:47	
20	Tschopp Marcel	LIE	26:46	+4:10	
21	Scarborough James	USA	26:49	+4:13	
22	Murakoshi Shin	JPN	27:14	+4:38	
23	Anderluh Gregor	SLO	27:32	+4:56	
24	Kraas Andreas	EST	27:35	+4:59	
25	Kowalski Wojciech	POL	27:56	+5:20	
26	Edwards Bill	IRL	27:59	+5:23	
27	Delic Petar	CRO	28:00	+5:24	
28	Jessop Rob	NZL	28:23	+5:47	
29	Prolingheuer Markus	GER	28:58	+6:22	
30	Zhuravlev Viacheslav	BLR	29:01	+6:25	
31	Pasion Rodriguez Pedro	ESP	29:09	+6:33	
32	Smith Wil	CAN	29:48	+7:12	
33	Gathercole Richard	RSA	31:55	+9:19	
34	Alon Tamir	ISR	33:29	+10:53	
35	Belskij Vladimir	KAZ	33:59	+11:23	
36	Heikoop Mark	NED	34:07	+11:31	
37	Matuski Vladimir	SCG	36:28	+13:52	
38	Choi Yuen Heng	HKG	43:07	+20:31	
	Smola Michal	CZE	Disqualified		

Middle Distance Qualification Men C - Final Results

Date:	Friday, August 8th, 2003	Length:	3.9 km		
Location:	Trin	Climb:	190 m		
Map:	Trin/Digg	Controls:	15		
Rank	Name	Nation	Finish Time	Behind	Qualified
1	De Haas Troy	AUS	23:49	0:00	Qualified
2	Gavrilov Evgeny	RUS	23:50	+0:01	Qualified
3	Olsson Jörgen	SWE	25:03	+1:14	Qualified
4	Kristiansen Øystein	NOR	25:09	+1:20	Qualified
5	Renard Damien	FRA	25:15	+1:26	Qualified
6	Kärner Olle	EST	25:45	+1:56	Qualified
7	Bentz Felix	SUI	25:47	+1:58	Qualified
8	Horacek Michal	CZE	25:53	+2:04	Qualified
9	Ikonen Pasi	FIN	26:14	+2:25	Qualified
10	Banach Robert	POL	26:19	+2:30	Qualified
11	Walner Jozef	SVK	26:21	+2:32	Qualified
12	Dimitrov Nikolay	BUL	26:32	+2:43	Qualified
13	Salopek Tihomir	CRO	26:55	+3:06	Qualified
13	Helmingier Norbert	AUT	26:55	+3:06	Qualified
15	Muukkonen Petteri	FIN	27:15	+3:26	Qualified
16	Lund Mikkel	DEN	27:16	+3:27	Qualified
17	Haldi Andreas	NZL	27:28	+3:39	Qualified
18	Zernis Oskars	LAT	27:29	+3:40	
19	Shtelmakh Maksym	UKR	27:30	+3:41	
20	Levai Ferenc	HUN	27:56	+4:07	
21	Crane Matthew	GBR	27:59	+4:10	
22	Mikhalkin Dmitriy	BLR	28:09	+4:20	
23	Duca Nick	CAN	29:21	+5:32	
24	Griff Daniel	ISR	29:28	+5:39	
25	Granovskiy Boris	USA	29:36	+5:47	
26	Andrekus Saulius	LTU	30:35	+6:46	
27	Tavernaro Michele	ITA	30:48	+6:59	
28	Aires Tiago	POR	31:04	+7:15	
29	Delobel Bart	BEL	31:19	+7:30	
30	Bauer Dragisa	SCG	32:02	+8:13	
31	Hribar Andraz	SLO	32:10	+8:21	
32	Thierolf Michael	GER	32:11	+8:22	
33	De Klerk Gary	RSA	41:00	+17:11	
34	Bourke Niall	IRL	41:01	+17:12	
35	Chung Chi Ming	HKG	50:14	+26:25	
36	Telnov Vladimir	KAZ	51:27	+27:38	
	Yamaguchi Daisuke	JPN	Disqualified		
	Gomez Prada Javier	ESP	Disqualified		

Middle Distance Qualification Women A - Final Results

Date:	Friday, August 8th, 2003	Length:	3.5 km		
Location:	Trin	Climb:	150 m		
Map:	Trin/Digg	Controls:	14		
Rank	Name	Nation	Finish Time	Behind	Qualified
1	Luder Simone	SUI	25:06	0:00	Qualified
2	Kauppi Minna	FIN	25:39	+0:33	Qualified
3	Svärd Gunilla	SWE	26:01	+0:55	Qualified
4	Ingvaldsen Elisabeth	NOR	26:36	+1:30	Qualified
5	Fey Zsuzsa	ROM	27:31	+2:25	Qualified
6	Höyer Maria	DEN	28:03	+2:57	Qualified
7	Huseby Brigitte	NOR	28:07	+3:01	Qualified
8	Soulard Juliette	FRA	28:26	+3:20	Qualified
9	Terova Bohdana	CZE	28:31	+3:25	Qualified
10	Depta Monika	POL	29:09	+4:03	Qualified
11	Ryabkina Tatiana	RUS	29:14	+4:08	Qualified
12	Potopalska Nataliya	UKR	29:36	+4:30	Qualified
13	Kandratsyeva Aliaksandra	BLR	29:57	+4:51	Qualified
14	Whitehead Jenny	GBR	30:05	+4:59	Qualified
15	Vovene Giedre	LTU	30:16	+5:10	Qualified
16	Rebane Kirti	EST	30:34	+5:28	Qualified
17	Rakayova Martina	SVK	30:43	+5:37	Qualified
18	Jaeger Meike	GER	31:56	+6:50	
19	Gschöpf Brigitte	AUT	32:26	+7:20	
20	Smith Rachel	NZL	33:14	+8:08	
21	Saito Sanae	JPN	33:31	+8:25	
22	Scaravonati Laura	ITA	34:09	+9:03	
23	Susta Ieva	LAT	34:10	+9:04	
24	Ewels Kathryn	AUS	34:15	+9:09	
25	Oeyen Greet	BEL	34:29	+9:23	
26	Scheck Katherine	CAN	34:43	+9:37	
27	Wengrin Agnes	HUN	35:52	+10:46	
28	Williams Karen	USA	38:17	+13:11	
29	Dimitrova Nataliya	BUL	38:35	+13:29	
30	Gil Brotons Veronica	ESP	39:17	+14:11	
31	Linlon Violet	IRL	43:42	+18:36	
32	Kitchin Kathy	RSA	48:32	+23:26	
33	Chuprikova Natalija	KAZ	50:39	+25:33	

Middle Distance Qualification Women B - Final Results

Date:	Friday, August 8th, 2003	Length:	3.5 km		
Location:	Trin	Climb:	150 m		
Map:	Trin/Digg	Controls:	15		
Rank	Name	Nation	Finish Time	Behind	Qualified
1	Staff Hanne	NOR	25:06	0:00	Qualified
2	Jukkola Heli	FIN	25:16	+0:10	Qualified
3	Schmalfeld Karin	GER	25:53	+0:47	Qualified
4	Gornicka-Antonowicz Anna	POL	26:24	+1:18	Qualified
5	Johansson Jenny	SWE	26:39	+1:33	Qualified
6	Annus Anu	EST	27:37	+2:31	Qualified
7	Widler Käthi	SUI	27:59	+2:53	Qualified
8	Sargautyte Ieva	LTU	28:14	+3:08	Qualified
9	Garin Folkegard Anna	ESP	29:20	+4:14	Qualified
10	Yaksanova Tatiana	RUS	29:39	+4:33	Qualified
11	Navratilova Iva	CZE	29:57	+4:51	Qualified
12	Plochenko Viktoriya	UKR	30:05	+4:59	Qualified
13	Farkas Zsuzsanna	HUN	30:11	+5:05	Qualified
14	Allison Jo	AUS	30:18	+5:12	Qualified
15	Hohenwarter Elisabeth	AUT	30:45	+5:39	Qualified
16	Roitensteiner Sabine	ITA	30:55	+5:49	Qualified
17	Bridle Helen	GBR	30:56	+5:50	Qualified
18	Oiafsen Erin	USA	31:04	+5:58	
19	Shandurkova Iliana	BUL	31:46	+6:40	
20	Skrastina Aija	LAT	32:07	+7:01	
21	Miklusova Jana	SVK	34:00	+8:54	
22	Tajima Rika	JPN	34:08	+9:02	
23	Manissolle Perrine	FRA	34:43	+9:37	
24	Maiorescu Irina	ROM	35:21	+10:15	
25	Zhuravleva Oksana	BLR	35:39	+10:33	
26	van Opstal Lieve	NED	35:46	+10:40	
27	Paterson Claire	NZL	36:44	+11:38	
28	Vandermeulen Séverine	BEL	37:54	+12:48	
29	Chsheglova Irina	KAZ	37:55	+12:49	
30	McNeil Philippa	CAN	38:18	+13:12	
31	Ocvirk Eva	CRO	40:16	+15:10	
32	Austin Fionne	IRL	41:00	+15:54	
	Leung Julie	HKG	Disqualified		

Middle Distance Qualification Women C - Final Results

Date:	Friday, August 8th, 2003	Length:	3.5 km		
Location:	Trin	Climb:	150 m		
Map:	Trin/Digg	Controls:	14		
Rank	Name	Nation	Finish Time	Behind	Qualified
1	Granstedt Anette	SWE	25:14	0:00	Qualified
2	Monro Heather	GBR	26:08	+0:54	Qualified
3	Kolkkala Reeta	FIN	26:42	+1:28	Qualified
4	Antonsen Linda	NOR	27:02	+1:48	Qualified
5	Baczek Barbara	POL	27:03	+1:49	Qualified
6	Fauner Renate	ITA	27:25	+2:11	Qualified
7	Soots Viivi-Anne	EST	27:42	+2:28	Qualified
8	Dambe Inga	LAT	27:50	+2:36	Qualified
9	Eisl Andrea	AUT	28:08	+2:54	Qualified
10	Vannier Valéria	FRA	28:18	+3:04	Qualified
11	Wolf Brigitte	SUI	28:24	+3:10	Qualified
12	Stehnova Zuzana	CZE	28:30	+3:16	Qualified
13	Dahl Dorte	DEN	29:00	+3:46	Qualified
14	Sidikova Aliya	RUS	29:10	+3:56	Qualified
15	Gil Brotons Esther	ESP	29:32	+4:18	Qualified
16	Robinson Tania	NZL	29:51	+4:37	Qualified
17	Razaitiene Jolanta	LTU	30:52	+5:38	Qualified
18	Trawin Cassie	AUS	31:49	+6:35	
19	Hott Johansen Sandy	CAN	32:01	+6:47	
20	Minou Veronica	ROM	32:03	+6:49	
21	Golseva Lyudmila	BUL	32:16	+7:02	
22	Brautigam Pavlina	USA	32:58	+7:44	
23	Makrai Eva	HUN	33:28	+8:14	
24	Schuijes Elisabeth	BEL	33:31	+8:17	
25	Voskoboinikova Tatiana	BLR	34:17	+9:03	
26	Olsson Lo Maureen	HKG	36:53	+11:39	
27	Spasyuk Mariya	UKR	37:20	+12:06	
28	Mulder Michele	RSA	38:06	+12:52	
29	Fischer Gunda	GER	39:24	+14:10	
30	Kornilova Galina	KAZ	40:58	+15:44	
31	Ochiai Shihoko	JPN	43:16	+18:02	
32	Costa Raquel	POR	53:57	+28:43	

Middle Distance Final Men - Final Results

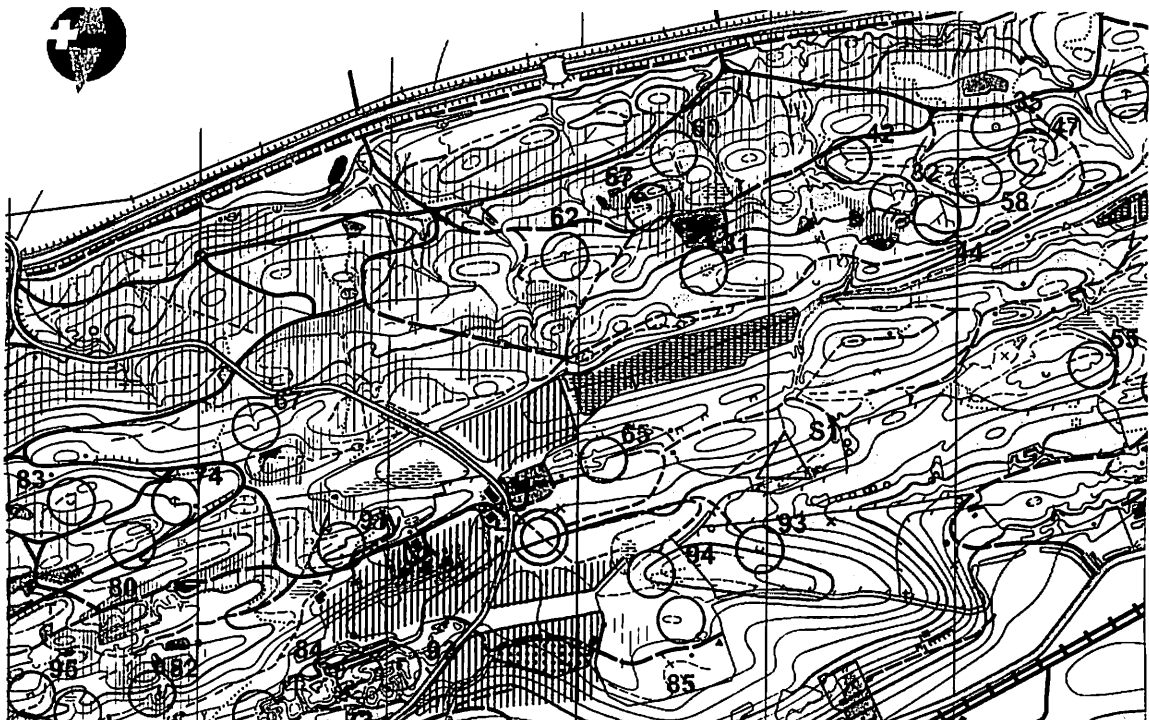
Date: Friday, August 8th, 2003 Length: 5.0 km
 Location: Trin Climb: 290 m
 Map: Trin/Digg Controls: 21

Rank	Name	Nation	Finish Time	Behind
1	Gueorgiou Thierry	FRA	30:08	0:00
2	Valstad Björnar	NOR	32:45	+2:37
3	Kristiansen Øystein	NOR	33:08	+3:00
4	Ikonen Pasi	FIN	33:18	+3:10
5	Rostrup Jörgen	NOR	33:37	+3:29
6	Davidik Marian	SVK	33:41	+3:33
7	Steinemann Denis	SUI	34:01	+3:53
8	Bentz Felix	SUI	34:09	+4:01
9	Salmi Janne	FIN	34:14	+4:06
10	Kärner Olle	EST	34:20	+4:12
11	Olsson Jörgen	SWE	34:39	+4:31
12	Sirmais Martins	LAT	34:40	+4:32
13	Näsman Johan	SWE	34:46	+4:38
13	Peltola Juha	FIN	34:46	+4:38
15	Muukkonen Petteri	FIN	34:47	+4:39
16	Novikov Leonid	RUS	34:52	+4:44
17	Gavrilov Evgeny	RUS	34:58	+4:50
18	Horacek Michal	CZE	35:00	+4:52
19	Stevenson Jamie	GBR	35:05	+4:57
20	Terkelsen Chris	DEN	35:09	+5:01
21	Niggli Matthias	SUI	35:25	+5:17
22	Johnson Oli	GBR	35:37	+5:29
23	Novikov Valentine	RUS	35:40	+5:32
24	Helminger Norbert	AUT	35:51	+5:43
25	Porzycz Janusz	POL	36:13	+6:05
26	Domonyik Gabor	HUN	36:17	+6:09
27	Banach Robert	POL	36:20	+6:12
28	Lund Mikkel	DEN	36:31	+6:23
29	Nielsen Troels	DEN	36:39	+6:31
30	Renard Damien	FRA	36:52	+6:44
31	Jedlicka Michal	CZE	36:58	+6:50
32	Voveris Edgaras	LTU	37:02	+6:54
33	Salopek Tihomir	CRO	37:41	+7:33
34	Wallner Jozef	SVK	38:05	+7:57
35	Zazgornik Jan	AUT	38:18	+8:10
36	De Haas Troy	AUS	38:25	+8:17
37	Gavrylenko Vitaliy	UKR	38:29	+8:21
38	Casal Fernandez Roger	ESP	38:37	+8:29
39	Shepherd David	AUS	38:38	+8:30
40	Mironov Dmitriy	BLR	38:53	+8:45
41	Sulcys Nerijus	LTU	39:37	+9:29
42	Iliev Lachezar	BUL	39:47	+9:39
43	Trygesson Henrik	SWE	40:10	+10:02
44	May Brian	USA	41:20	+11:12
45	Girsch Nicolas	FRA	41:47	+11:39
46	Corona Emiliano	ITA	42:05	+11:57
47	Bluett Grant	AUS	42:16	+12:08
48	Schgaguler Klaus	ITA	42:28	+12:20
49	Mohn Christian	AUT	43:18	+13:10
50	Haldi Andreas	NZL	43:24	+13:16
51	Dimitrov Nikolay	BUL	44:29	+14:21

Middle Distance Final Women - Final Results

Date: Friday, August 8th, 2003 Length: 4.5 km
 Location: Trin Climb: 250 m
 Map: Trin/Digg Controls: 18

Rank	Name	Nation	Finish Time	Behind
1	Luder Simone	SUI	32:40	0:00
2	Staff Hanne	NOR	32:57	+0:17
3	Jukkola Heli	FIN	33:32	+0:52
4	Johansson Jenny	SWE	35:08	+2:28
5	Ingvaldsen Elisabeth	NOR	36:16	+3:36
6	Granstedt Anette	SWE	36:41	+4:01
7	Svärd Gunilla	SWE	37:25	+4:45
8	Gornicka-Antonowicz Anna	POL	37:30	+4:50
9	Wolf Brigitte	SUI	37:41	+5:01
10	Monro Heather	GBR	37:43	+5:03
11	Kauppi Minna	FIN	37:46	+5:06
12	Sargautyle Ieva	LTU	38:02	+5:22
13	Fey Zsuzsa	ROM	38:14	+5:34
14	Baczek Barbara	POL	38:23	+5:43
15	Widler Käthi	SUI	38:34	+5:54
16	Ryabkina Tatiana	RUS	38:40	+6:00
17	Garin Folkegard Anna	ESP	40:00	+7:20
18	Antonsen Linda	NOR	40:03	+7:23
18	Allison Jo	AUS	40:03	+7:23
20	Annus Anu	EST	40:06	+7:26
21	Voveriene Giedre	LTU	40:33	+7:53
22	Rakayova Martina	SVK	40:40	+8:00
23	Huseby Brigitte	NOR	40:53	+8:13
24	Yaksanova Tatiana	RUS	41:12	+8:32
24	Navratilova Iva	CZE	41:12	+8:32
26	Kolkkala Reeta	FIN	41:51	+9:11
27	Razaitiene Jolanta	LTU	42:00	+9:20
27	Plochenko Viktoriya	UKR	42:00	+9:20
29	Schmalfeld Karin	GER	42:27	+9:47
30	Robinson Tania	NZL	42:31	+9:51
31	Sitdikova Aliya	RUS	42:37	+9:57
32	Vannier Valéne	FRA	42:54	+10:14
33	Bridle Helen	GBR	42:57	+10:17
34	Depta Monika	POL	43:07	+10:27
35	Höyer Maria	DEN	44:09	+11:29
36	Gil Brotons Esther	ESP	44:12	+11:32
37	Soots Viivi-Anne	EST	44:18	+11:38
38	Rebane Kirti	EST	44:30	+11:50
38	Fauner Renate	ITA	44:30	+11:50
40	Terova Bohdana	CZE	45:10	+12:30
41	Polopalska Nataliya	UKR	45:40	+13:00
42	Hohenwarter Elisabeth	AUT	45:58	+13:18
43	Dambe Inga	LAT	46:07	+13:27
44	Stehnova Zuzana	CZE	46:18	+13:38
45	Eisl Andrea	AUT	46:26	+13:46
46	Farkas Zsuzsanna	HUN	46:47	+14:07
47	Whitehead Jenny	GBR	47:06	+14:26
48	Rottensteiner Sabine	ITA	47:11	+14:31
49	Soulard Juliette	FRA	47:12	+14:32
50	Kandratsyeva Aliaksandra	BLR	48:41	+16:01



Relay Men - Final Results

Date: Saturday, August 9th, 2003 Leg 1: 5.6 km / 200 m / 11
 Location: Forch Leg 2: 8.4 km / 370 m / 19
 Map: Plannenstiel Leg 3: 7.2 km / 330 m / 18

Rank	Nation	Course	Leg			Team		
			Time	Rank	Behind	Time	Rank	Behind
1	Sweden					1:58:42		0:00
	Jonasson Niclas	B G	30:29	7	+1:56	30:29	7	+1:56
	Karlsson Mattias	CD	46:29	3	+0:21	1:16:59	1	0:00
	Wingstedt Emil	AE	41:42	4	+1:27	1:58:42	1	0:00
2	Finland					1:59:27		+0:45
	Lakanen Jani	A F	28:33	1	0:00	28:33	1	0:00
	Huovila Jarkko	SDG	49:25	8	+3:17	1:17:58	6	+0:59
	Haldin Mats	CE	41:29	3	+1:13	1:59:27	2	+0:45
3	Great Britain					2:01:04		+2:22
	Marston Daniel	B G	31:16	10	+2:43	31:16	10	+2:43
	Duncan Jon	ADF	46:08	1	0:00	1:17:24	3	+0:25
	Stevenson Jamie	CE	43:40	10	+3:24	2:01:04	3	+2:22
4	Switzerland					2:01:21		+2:39
	Schneider David	C G	30:23	6	+1:50	30:23	6	+1:50
	Bührer Thomas	ADF	46:57	4	+0:49	1:17:20	2	+0:21
	Lauenstein Marc	BE	44:01	11	+3:45	2:01:21	4	+2:39
5	Russia					2:02:07		+3:25
	Novikov Valentine	B G	31:52	17	+3:19	31:52	17	+3:19
	Elimov Roman	CEF	49:59	15	+3:51	1:21:51	14	+4:52
	Mamleev Mikhail	AD	40:15	1	0:00	2:02:07	5	+3:25
6	Ukraine					2:02:21		+3:39
	Ushkvarok Pavlo	C F	31:53	18	+3:20	31:53	18	+3:20
	Mukhidinov Vyacheslav	SDG	49:50	13	+3:42	1:21:43	13	+4:44
	Omelchenko Yuri	AE	40:37	2	+0:22	2:02:21	6	+3:39
7	Norway					2:02:50		+4:08
	Sandvik Tore	A G	30:52	8	+2:19	30:52	8	+2:19
	Rostrup Jörgen	BEF	49:28	9	+3:20	1:20:20	8	+3:21
	Johansen Holger Hott	CD	42:29	7	+2:14	2:02:50	7	+4:08
8	Slovakia					2:03:28		+4:46
	Pospisil Vitek	B G	31:18	11	+2:45	31:18	11	+2:45
	Bartak Lukas	AEF	49:45	12	+3:37	1:21:04	11	+4:05
	Davdík Marian	CD	42:24	6	+2:09	2:03:28	8	+4:46
9	Australia					2:03:42		+5:00
	Bluett Grant	A F	30:09	4	+1:36	30:09	4	+1:36
	De Haas Troy	BEG	49:20	7	+3:12	1:19:29	7	+2:30
	Quayle Tom	CD	44:12	12	+3:57	2:03:42	9	+5:00
10	Lithuania					2:04:01		+5:19
	Sukys Nerijus	A G	30:16	5	+1:43	30:16	5	+1:43
	Voveris Edgaras	CE	47:31	5	+1:23	1:17:48	5	+0:49
	Krepsta Simonas	BD	46:13	16	+5:57	2:04:01	10	+5:19
11	Poland					2:05:18		+6:36
	Kowalski Wojciech	B F	31:01	9	+2:28	31:01	9	+2:28
	Porzyc Janusz	ADG	49:54	14	+3:46	1:20:55	10	+3:56
	Banach Robert	CE	44:23	13	+4:08	2:05:18	11	+6:36
12	Germany					2:06:03		+7:21
	Lubina Alexander	B F	31:24	13	+2:51	31:24	13	+2:51
	Horst Ingo	AEG	46:16	2	+0:08	1:17:41	4	+0:42
	Proingheuer Markus	CD	48:22	20	+8:07	2:06:03	12	+7:21
13	Denmark					2:06:11		+7:29
	Fenger-Grøn Morten	C F	33:15	24	+4:42	33:15	24	+4:42
	Rokkjær René	BDG	51:12	17	+5:04	1:24:28	20	+7:29
	Jørgensen Carsten	AE	41:42	5	+1:27	2:06:11	13	+7:29
14	France					2:06:55		+8:13
	Gonon François	A F	28:34	2	+0:01	28:34	2	+0:01
	Renard Damien	CEG	55:20	24	+9:12	1:23:55	18	+6:56
	Gueorgiou Thierry	BD	43:00	9	+2:45	2:06:55	14	+8:13
15	Czech Republic					2:07:47		+9:05
	Horacek Michal	B F	33:13	23	+4:40	33:13	23	+4:40
	Losman Petr	CDG	49:29	10	+3:21	1:22:42	16	+5:43
	Ropek Rudolf	AE	45:04	14	+4:49	2:07:47	15	+9:05
16	Austria					2:08:29		+9:47
	Breitschädel Felix	A G	31:50	16	+3:17	31:50	16	+3:17
	Krejci Thomas	BDF	50:08	16	+4:00	1:21:58	15	+4:59
	Zazgornik Jan	CE	46:31	17	+6:16	2:08:29	16	+9:47
17	Italy					2:10:40		+11:58
	Corona Pierpaolo	A F	31:57	19	+3:24	31:57	19	+3:24
	Rigoni Carlo	CDG	48:36	6	+2:28	1:20:34	9	+3:35
	Tavernaro Michele	BE	50:06	22	+9:51	2:10:40	17	+11:58
18	Estonia					2:11:05		+12:23
	Kraas Andreas	R	31:38	14	+3:05	31:38	14	+3:05
	Avaste Tarvo	AEG	52:23	20	+6:15	1:24:02	19	+7:03
	Kärner Olle	BD	47:03	18	+6:48	2:11:05	18	+12:23
19	Hungary					2:12:05		+13:23
	Levai Ferenc	C G	32:36	21	+4:03	32:36	21	+4:03
	Denes Zoltan	BEF	56:35	25	+10:27	1:29:11	25	+12:12
	Domonyik Gabor	AD	42:53	8	+2:38	2:12:05	19	+13:23
20	New Zealand					2:12:49		+14:07
	Haldi Andreas	C F	35:02	30	+6:29	35:02	30	+6:29
	Forne Chris	BEG	52:21	18	+6:13	1:27:23	23	+10:24
	Barbour Greg	AD	45:26	15	+5:10	2:12:49	20	+14:07
21	Bulgaria					2:13:24		+14:42
	Todorov Teodor	C G	31:59	20	+3:26	31:59	20	+3:26
	Nikolov Kiril	AEF	49:38	11	+3:30	1:21:37	12	+4:38
	Mihaylov Mihail	BD	51:46	24	+11:31	2:13:24	21	+14:42
22	Belgium					2:13:59		+15:17
	Pasquasy Fabien	A G	29:34	3	+1:01	29:34	3	+1:01
	Gilot Jan	CD	54:08	21	+8:00	1:23:42	17	+6:43
	Delobel Bart	BE	50:16	23	+10:01	2:13:59	22	+15:17
23	Belorussia					2:17:54		+19:12
	Mironov Dmitriy	B G	31:21	12	+2:48	31:21	12	+2:48
	Zhuravlev Andrei	CD	54:11	22	+8:03	1:25:32	21	+8:33
	Zhuravlev Viacheslav	AE	52:21	25	+12:06	2:17:54	23	+19:12
24	Portugal					2:18:12		+19:30
	Povoa Marco	B F	31:41	15	+3:08	31:41	15	+3:08
	Aires Tiago	AEG	58:01	28	+11:53	1:29:43	26	+12:44
	Sousa Joaquim	CD	48:29	21	+8:14	2:18:12	24	+19:30
25	Latvia					2:20:47		+22:05
	Sirmais Martins	C G	34:59	29	+6:26	34:59	29	+6:26
	Vegeris Girts	BDF	58:15	30	+12:07	1:33:14	29	+16:15
	Zernis Oskars	AE	47:33	19	+7:18	2:20:47	25	+22:05
26	Japan					2:22:36		+23:54
	Kashimada Koji	B F	33:11	22	+4:38	33:11	22	+4:38
	Takahashi Yoshinori	CEG	56:42	26	+10:34	1:29:53	27	+12:54
	Murakoshi Shin	AD	52:43	26	+12:27	2:22:36	26	+23:54
27	Croatia					2:26:28		+27:46
	Delic Petar	B F	33:56	25	+5:23	33:56	25	+5:23
	Legac Lino	CEG	54:45	23	+8:37	1:28:42	24	+11:43
	Ocvirk Edi	CD	57:46	30	+17:31	2:26:28	27	+27:46
28	Ireland					2:29:58		+31:16
	Quin Andrew	A F	36:30	32	+7:57	36:30	32	+7:57
	Edwards Bill	CDG	58:06	29	+11:58	1:34:36	30	+17:37
	Dobbs Neil	BE	55:21	27	+15:05	2:29:58	28	+31:16
29	Canada					2:37:28		+38:46
	Duca Nick	A G	34:16	27	+5:43	34:16	27	+5:43
	Smith Wil	CEF	1:07:15	35	+21:07	1:41:31	34	+24:32
	Smith Mike	BD	55:56	28	+15:41	2:37:28	29	+38:46
30	Israel					2:38:12		+39:30
	Griff Daniel	B G	35:32	31	+6:59	35:32	31	+6:59
	Alon Tamir	AEF	1:05:52	33	+19:44	1:41:24	33	+24:25
	Marchenko Alexey	CD	56:47	29	+16:32	2:38:12	30	+39:30
31	Serbia and Montenegro					2:42:18		+43:36
	Avramovic Dejan	C G	37:10	34	+8:37	37:10	34	+8:37
	Bauer Dragisa	BEF	58:49	31	+12:41	1:35:59	31	+19:00
	Matuski Vladimir	AD	1:06:18	32	+26:03	2:42:18	31	+43:36
32	Slovenia					2:44:47		+46:05
	Hribar Andraz	A G	37:00	33	+8:27	37:00	33	+8:27
	Pillaver Jaka	CD	1:06:39	34	+20:31	1:43:40	35	+26:41
	Anderluh Gregor	BE	1:01:07	31	+20:52	2:44:47	32	+46:05
33	Republic of South Africa					2:52:01		+53:19
	Teny Martin	C F	38:01	35	+9:28	38:01	35	+9:28
	Gathercole Richard	ADG	1:01:04	32	+14:56	1:39:05	32	+22:06
	Mulder Nicholas	BE	1:12:56	34	+32:41	2:52:01	33	+53:19
34	Kazakhstan					Mass start		3:11:16
	Telnov Vladimir	C G	51:12	37	+22:39	51:12	37	+22:39
	Nalobin Valerij	AEF	1:07:49	36	+21:41	1:59:01	36	+42:02
	Belskij Vladimir	BD	1:12:15	33	+32:00	3:03:15	MS	+1:04:33
35	Hong Kong					Mass start		3:19:14
	Hui Siu Tung	A G	42:44	36	+14:11	42:44	36	+14:11
	Chung Chi Ming	BDF	1:21:31	37	+35:23	2:04:15	37	+47:16
	Liang Chi Hang	CE	1:14:59	35	+34:44	3:05:59	MS	+1:07:17
	Spain					Disqualified		
	Bustillo Ruiz Alfonso	C F	34:09	26	+5:36	34:09		

Relay Women - Final Results

Date: Saturday, August 9th, 2003 Leg 1: 5.2 km / 180 m / 13
 Location: Forch Leg 2: 7.0 km / 320 m / 20
 Map: Pfannenstiel Leg 3: 6.4 km / 260 m / 16

Rank	Nation	Course	Time	Leg Rank	Behind	Time	Team Rank	Behind	Rank	Time	Behind						
1	Switzerland	B G	32:10	1	0:00	1:57:41	1	0:00	21	Belgium	2:31:02	+33:21					
	Wolf Brigitte	B G	32:10	1	0:00	32:10	1	0:00		Harmans Aline	A G	34:35	11	+2:25	34:35	11	+2:25
	König-Salmi Vroni	CEF	47:23	1	0:00	1:19:34	1	0:00		Vandermeulen Séverine	CEF	1:05:04	25	+17:41	1:39:39	20	+20:05
	Luder Simone	AD	38:06	1	0:00	1:57:41	1	0:00		Oeyen Greet	BE	51:23	21	+13:16	2:31:02	21	+33:21
2	Sweden	A G	32:17	2	+0:07	1:59:46	2	+2:05	22	United States of America	2:31:20	+33:39					
	Svård Gunilla	A G	32:17	2	+0:07	32:17	2	+0:07		Brautigam Pavlina	B G	43:32	26	+11:22	43:32	26	+11:22
	Arewang Højsgaard Karolina	BEF	48:03	2	+0:40	1:20:20	2	+0:46		Olafsen Erin	CEF	57:32	17	+10:09	1:41:05	22	+21:31
	Johansson Jenny	CD	39:25	2	+1:19	1:59:46	2	+2:05		Zürcher Sandra	AE	50:14	20	+12:08	2:31:20	22	+33:39
3	Norway	B F	32:27	3	+0:17	2:05:18	3	+7:37	23	Bulgaria	2:34:10	+36:29					
	Ingvaldsen Elisabeth	B F	32:27	3	+0:17	32:27	3	+0:17		Shandurkova Iliana	B F	40:50	23	+8:40	40:50	23	+8:40
	Huseby Brigitte	CDG	50:19	3	+2:56	1:22:46	3	+3:12		Gotseva Lyudmila	CEG	58:57	19	+11:34	1:39:47	21	+20:13
	Staff Hanne	AE	42:31	4	+4:24	2:05:18	3	+7:37		Grigorova Antoniya	AD	54:22	25	+16:16	2:34:10	23	+36:29
4	Lithuania	B G	33:53	8	+1:43	2:07:51	8	+10:10	24	Japan	2:42:08	+44:27					
	Voveriene Giedre	B G	33:53	8	+1:43	33:53	8	+1:43		Saito Sanae	CF	45:32	28	+13:22	45:32	28	+13:22
	Rudzenskaite Vilma	CEF	51:09	5	+3:46	1:25:03	6	+5:29		Shioda Misa	BEF	59:31	21	+12:08	1:45:03	24	+25:29
	Sargulyte Ieva	AE	42:48	5	+4:41	2:07:51	4	+10:10		Tajima Rika	AD	57:05	27	+18:58	2:42:05	MS	+44:24
5	Czech Republic	A G	32:41	5	+0:31	2:09:15	5	+11:34	25	Canada	2:55:38	+57:57					
	Sterbova Marta	A G	32:41	5	+0:31	32:41	5	+0:31		Scheck Katherine	BF	47:57	29	+15:47	47:57	29	+15:47
	Dockalova Martina	CEF	52:05	7	+4:42	1:24:47	5	+5:13		Hott Johansen Sandy	AEG	1:05:01	24	+17:38	1:52:59	25	+33:25
	Brozkova Dana	BD	44:27	7	+6:21	2:09:15	5	+11:34		McNeil Philippa	CD	1:02:40	28	+24:33	2:47:40	MS	+49:59
6	Great Britain	C G	36:15	18	+4:05	2:09:31	18	+11:50	26	Kazakhstan	3:19:47	+1:22:06					
	Rollins Sarah	C G	36:15	18	+4:05	36:15	18	+4:05		Chsheglova Irina	A G	50:02	30	+17:52	50:02	30	+17:52
	Woolton Hannah	ADF	51:17	6	+3:54	1:27:33	8	+7:59		Kornilova Galina	CEF	1:24:11	26	+36:48	2:14:13	27	+54:39
	Monro Heather	BE	41:58	3	+3:51	2:09:31	6	+11:50		Chuprikova Natalija	BD	1:05:34	29	+27:27	2:50:34	MS	+52:53
7	Poland	A G	34:03	9	+1:53	2:09:59	9	+12:18	27	Hong Kong	3:49:55	+1:52:14					
	Depta Monika	A G	34:03	9	+1:53	34:03	9	+1:53		Olsson Lo Maureen	CG	42:13	25	+10:03	42:13	25	+10:03
	Gornicka-Antonowicz Anna	BOF	50:20	4	+2:57	1:24:24	4	+4:50		Cheng Yueng Ki	AEF	1:30:32	27	+43:09	2:12:46	26	+53:12
	Baczek Barbara	CE	45:34	10	+7:28	2:09:59	7	+12:18		Leung Julie	BD	1:37:10	30	+59:03	3:22:10	MS	+1:24:29
8	Russia	C G	33:22	6	+1:12	2:13:05	6	+15:24		Finland	Disqualified						
	Novikova Yulia	C G	33:22	6	+1:12	33:22	6	+1:12		Kolkkola Reeta	A F	32:38	4	+0:28	32:38	4	+0:28
	Ryabkina Tatiana	BOF	53:53	10	+6:30	1:27:16	7	+7:42		Holster Terhi	BOG			Disqualified			
	Sidikova Aljya	AE	45:49	12	+7:42	2:13:05	8	+15:24		Jukkola Heli	CE	44:38	8	+6:31			
9	Austria	B F	36:12	17	+4:02	2:19:24	17	+21:43		Ukraine	Disqualified						
	Eisl Andrea	B F	36:12	17	+4:02	36:12	17	+4:02		Spasyuk Mariya	CG	33:52	7	+1:42	33:52	7	+1:42
	Gschöpf Brigitte	ADG	53:37	9	+6:14	1:29:49	10	+10:15		Potopalska Nataliya	BEF			Disqualified			
	Hohenwarter Elisabeth	CE	49:34	18	+11:27	2:19:24	9	+21:43		Plokhenko Viktoriya	AD	53:27	24	+15:20			
10	Germany	A F	37:52	20	+5:42	2:20:55	20	+23:14		Denmark	Disqualified						
	Dresen Elisa	A F	37:52	20	+5:42	37:52	20	+5:42		Dahl Dorte	CF	35:31	14	+3:21	35:31	14	+3:21
	Kärger Luise	BEF	57:16	16	+9:53	1:35:08	14	+15:34		Olesen Anne Konring	AEG			Disqualified			
	Schmalfeld Karin	CD	45:47	11	+7:40	2:20:55	10	+23:14		Hausner Helena	BD	45:26	9	+7:19			
11	Italy	A F	35:54	15	+3:44	2:21:10	15	+23:29		Japan	Disqualified						
	Scaravonati Laura	A F	35:54	15	+3:44	35:54	15	+3:44									
	Fauner Renate	BOG	53:19	8	+5:56	1:29:13	9	+9:39									
	Rottensteiner Sabine	CE	51:56	22	+13:49	2:21:10	11	+23:29									
12	France	C F	38:53	22	+6:43	2:21:25	22	+23:44									
	Vannier Valérie	C F	38:53	22	+6:43	38:53	22	+6:43									
	Dodin Céline	ADG	55:32	11	+8:09	1:34:25	13	+14:51									
	Soulard Juliette	BE	47:00	14	+8:53	2:21:25	12	+23:44									
13	Australia	A F	36:08	16	+3:58	2:21:36	16	+23:55									
	Allison Jo	A F	36:08	16	+3:58	36:08	16	+3:58									
	Jones Allison	CEG	1:01:09	22	+13:46	1:37:17	17	+17:43									
	Key Natasha	BD	44:18	6	+6:11	2:21:36	13	+23:55									
14	Romania	B F	34:56	12	+2:46	2:22:17	12	+24:36									
	Fey Zsuzsa	B F	34:56	12	+2:46	34:56	12	+2:46									
	Minciu Veronica	CEG	57:38	18	+10:15	1:32:34	12	+13:00									
	Maiorescu Irina	AD	49:43	19	+11:36	2:22:17	14	+24:36									
15	Hungary	C F	37:40	19	+5:30	2:25:34	19	+27:53									
	Makrai Éva	C F	37:40	19	+5:30	37:40	19	+5:30									
	Wengrin Agnes	BDG	59:23	20	+12:00	1:37:03	16	+17:29									
	Farkas Zsuzsanna	AE	48:31	15	+10:24	2:25:34	15	+27:53									
16	New Zealand	C G	34:04	10	+1:54	2:25:39	10	+27:58									
	Robinson Tania	C G	34:04	10	+1:54	34:04	10	+1:54									
	Smith Rachel	AEF	56:46	15	+9:23	1:30:50	11	+11:16									
	Paterson Claire	BD	54:47	26	+16:40	2:25:39	16	+27:58									
17	Latvia	A G	35:06	13	+2:56	2:27:02	13	+29:21									
	Dambe Inga	A G	35:06	13	+2:56	35:06	13	+2:56									
	Susta Ieva	BDF	1:03:07	23	+15:44	1:38:13	19	+18:39									
	Skrastina Aija	CE	48:48	16	+10:41	2:27:02	17	+29:21									
18	Spain	B G	42:01	24	+9:51	2:27:22	24	+30:11									
	Gil Brotons Veronica	B G	42:01	24	+9:51	42:01	24	+9:51									
	Garin Folkegard Anna	AEF	55:53	12	+8:30	1:37:54	18	+18:20									
	Gil Brotons Esther	CD	49:27	17	+11:20	2:27:22	18	+29:41									
19	Estonia	B G	44:56	27	+12:46	2:27:52	27	+30:11									
	Soots Viivi-Anne	B G	44:56	27	+12:46	44:56	27	+12:46									
	Rebane Kiri	ADF	56:34	14	+9:11	1:41:30	23	+21:56									
	Annus Anu	CE	46:22	13	+8:15	2:27:52	19	+30:11									
20	Belorussia	A F	38:51	21	+6:41	2:28:18	21	+30:37									
	Kandratsyeva Aliksandra	A F	38:51	21	+6:41	38:51	21	+6:41									
	Voskoboinikova Tatiana	CDG	56:21	13	+8:58	1:35:13	15	+15:39									
	Zhuravleva Oksana	BE	53:05	23	+14:58	2:28:18	20	+30:37									

日本チームの成績が Mass start (ウムスタート) になっているが、チェンジオーバー (タッチ) をしており、現在提訴中である。

第 20 回オリエンテーリング世界選手権大会報告書

発 行：WOC SQUAD JAPAN

発行日：2003 年 10 月 10 日

発行人：宮川 達哉

編 集：藤井 範久

事務局：小林 岳人

273-0046 千葉県船橋市上山町 1-88-1

ルーラルタウン壱番館 A-204
